

2018-06 (No 098)

NEW

アストロ・インフォメーション



Jupiter

2018-05-10 17:37.9 UT CM I 3.5° CM II 306.5° CM III 171.5°
Celestron C14+2x+ADC+IR-cut+ASI224MC/ Exp:0.0125s 120s 6747 frames(50%)
Seeing:6/10 Trans:3/5 Takayuki Kawabata (Kumamoto-city Japan)

☆☆ 木星 ☆☆

撮影：川端孝幸（熊本県熊本市）

撮影日時 2018年05月11日

C14+2×パーロー+IRcut+ADC+ASI224MC

大分天文協会

Astronomical Society of Oita



表紙コメント(編集部による聞き取りとFBから抜粋まとめ)

2018.05/11の木星 川端 孝幸

2018.05/11は1時台の木星の時の結構良かったですね。早朝の1時37分台が今期の木星ベストショットになりそうです。衝は過ぎましたが、まだまだ楽しませてくれそうです。

～～目次～～

- 01 例会報告
- 03 会誌発送
- 03 アストロインフォメーション感想(福岡星の会さんより)
- 03 会誌の受領(関東天文協会の天文台通信151号)
- 04 内那さん259個目の彗星発見
- 04 2018.05/30付の熊日新聞(川端さんの木星画像掲載)
- 04 2018.05/24 科学館記事、大分合同新聞夕刊に掲載
- 04 大分天文協会ホームページにインフォメーション掲載
- 05 2018.05/03 佐賀天文協会太良観測所20周年記念式典
- 06 2018.05/19 久住高原・星空の巡り に参加しました
- 06 2018.05/26 第一回・四季の星空観測
- 07 2018.05/26 のつはる少年自然の家：春の星空散歩
- 08 2018.06/02 白丹小学校観望会
- 09 2018.05/09 香りの森・多田さん出撃&長大流星！
- 09 2018.05/17 京都市青少年科学センター襲撃記
- 10 15年ぶりの惑星撮影
- 10 鏡筒の惑星撮影仕様改造いろいろ！
- 11 転んでもタダでは起きないガクルックスハンターのひとりごと
- 13 報告画像ギャラリー

編集部便り

比較的晴れ間は多かったのですが、気温が上がらずいつまでも炬燵から離れられない寒さ(撮影中は、ですよ)でした。それはつまり寒気の流れ込みでもあり、惑星の撮影には何とも不向きな4月5月だったのでは？と思ってしまいます。そのような中、みなさん積極的に惑星の撮影をされていて、すごいなあ、と思って見えています。編集部は少しでもシンチレーションが目視できると、今夜は無理だ、と星雲撮影に気が向かってしまいます。そんななか、あまりの透明度に誘われて無理を承知でガクルックスハントに出かけましたが、予想通りすんでのところで、核心を突くことができませんでした。ま、世の中には物事の核心はあまり明らかにしない方がよいこともありますから。

予想通り・・・というところがミソで、5年間も失敗が続くと、少しは頭も使うようになり、いったいどんな状況なら見えそうなのか？いつもメールに届く気象予報に加えて、自分なりの考えも含めて、予想を立ててはいます。で、予想通り今回も見えなかったわけですが、「見えなかった！」という報告だけでは悔しいので、みなさんの成功例も含めてまとめてみることにしました。

さて毎年春先は、黄砂やPM2.5で、星雲銀河はダメ、今年はそれに加えて気流も良くない、そしてガクルックスハントも失敗、弱り目に祟り目、泣きっ面にハチ、平年より1週間も早く梅雨入りですもんね。梅雨の合間の空は猛烈に澄んでいますので、そんな空を楽しみに待つとしましょう。

編集部より業務連絡

Yahoo!ボックスにアップしていた会誌のPDF版はMMで配信したPDF版と同じ容量(3～5MB)でしたが、98号は通常のメール配信しているものをA4版として、それと同時に、Yahoo!ボックスからのダウンロード限定でHQ版、を作成してあげることにします。HQ版はA4版に比べ実は紙面サイズが非常に大きいので、ファイルサイズは10倍ほどになってしまっています。しかし、タブレットPCなどを使ってPDFを電子書籍として読むスタイルの場合、指を使った拡大操作が可能になりますから、掲載画像のクオリティをあげて拡大して楽しめるようにした、というのが、HQ版の目的です。関心のある写真などは拡大できるクオリティがあります。98号のHQ版は、ファイルサイズが30MBほどになっていますが、Yahoo!ボックスからのダウンロードは可能ではありません。もしタブレットPCをお使いの方はお試しください。万一大きいサイズがダウンロードできない方のためにMMと同じ小さい容量版(A4版)もアップします。

編集：2018年06/08

収載画像 インフォメーション (NO.4302) から
インフォメーション (NO.4366) まで

編集者： 藤吉健児

発行責任者： 山本幸司 (会長)

記事内容などに質問・ご意見有るときは
大分天文協会事務局までご連絡ください。

大分天文協会事務局

〒870-0924 大分市牧3-13-30

TEL : 097-556-9565 FAX : 097-556-5067

お急ぎの時は090-1923-7889 24時間 OK

wae@fat.coara.or.jp

大分天文協会ホームページ

<http://astro-oita.org/>

June 6 2018

日	月	火	水	木	金	土
					1 いて座μ 3.8等 星食(出現01:21)	2
3	4	5	6	7 	8	9
10	11	12	13	14 	15	16
17	18	19	20 	21	22	23
24	25	26	27 	28 	29	30

July 7 2018

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6 	7
8	9	10	11	12 水星が東方最大離角(14:29) 冥王星が衝(18:27)	13 	14
15	16 海の日	17	18	19	20 	21
22	23	24	25	26	27	28 
29	30	31 火星の今季最接近16:50 				新月 皆既月食 皆既の始まり04:30AM (月没帯食) 火星が衝22:17



2018.06.06大分天文協会例会集合写真

☆☆ 大分天文協会2018年06月例会開催されました ☆☆
2018年度06月の月例会が無事開催されました。
参加いただいた皆さん、お疲れ様でした！

=====

日時：06月06日（第一水曜日） 19時より

場所：コンパルホール地下1階団体活動室

参加者（18名）順不同です：

津田・瀧・村上・藤吉・足立・武石・井餘田・

吉野夫妻・多田・山本・阿部哲也（見学）

文理大天文部6名（石井部長他5名）



主な内容

（1）5月の活動報告
【05月】

5月02日（水）例会 コンパル団活

・・・16名参加、お疲れ様でした。

5月03日（木）佐賀天文協会太良天体観測所開所20周年記念式典

・・・川端副会長夫妻参加、お疲れ様でした。

5月12日（土）月例観測会（月齢2.6） 香りの森駐車場

・・・天候不良で中止

5月19日（土）「久住高原星空の巡り」くじゅう花公園にて

・・・無事開催、山本参加

5月22日→6月2日に延期

（土）白丹小学校観望会（予定）

・・・山本夫婦担当

5月26日（土）のつはる少年自然の家 星空散歩（春）

・・・山本夫婦担当 71名参加無事終了

5月26日（土）四季の星空観測・野津原中部小学校区連絡会

・・・丸野さん担当・応援：太田さん親子
30名参加無事終了お疲れ様でした！

（2）06月以降の活動計画打ち合わせ。

以下の予定です、詳しくは後日連絡いたします。

【06月】

6月02日（土）白丹小学校観望会

・・・30名参加無事開催されました、山本夫婦担当

6月06日（水）例会 コンパル団活（予定）

6月16日（土）月例観測会（月齢2.3） 香りの森駐車場（予定）

6月16日（土）「久住高原星空の巡り」くじゅう花公園にて（予定）

【08月】

8月11日（土）～13日（月）清和高原スターフェスタ応援参加依頼

※川端副会長は3日間参加予定

協会としては8/12夜参加を計画中。

ペルセウス観測会もこの日清和で行う予定です。

参加者名簿提出が6/10ですので6/9までに

参加希望者は事務局まで連絡をお願いします。

6/6時点：川端・瀧・山本・吉野（未定）

そのほかの11日・13日は各自自由参加とします、

参加できる方は事務局まで連絡よろしく！

なお、今年はバンガローが確保未定のため宿泊は各自が
テントや車中泊でご検討ください。

（3）会報などの紹介

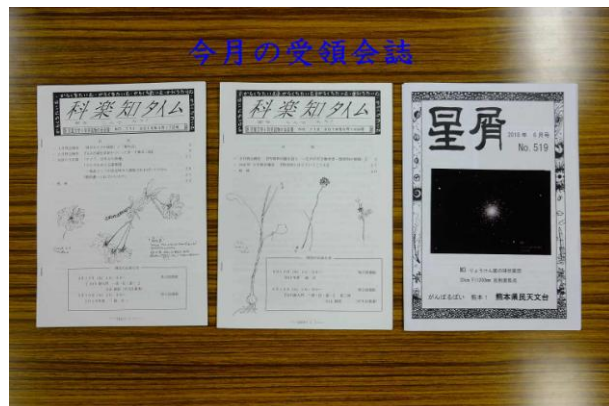
今月も多くの団体から立派な活動の会誌などを

頂きましたのでみんなで楽しく閲覧させていただきました。

・星屑 NO. 519 熊本県民天文台

・科楽知タイム NO.111 児童文学と科学読み物の会

・科楽知タイム NO.112 児童文学と科学読み物の会



(4) 阿部哲也さんが例会見学に来られました。

協会設立当初、会員だった阿部哲也さん・・・お仕事の都合で大分県外に引っ越されて協会からも離れてましたが、少し前に大分に帰ってこられました。昨年再会し、協会忘年会にお誘いしたら喜んで参加していただきましたので、今月の例会にも声をかけましたところ、見学に来ていただけました。約30年ぶりにコンパルホールに来たそうで、屋上の天体観測ドーム前で記念撮影した記憶が有りますが、もう・・・30年ですか！！大分天文協会の活動は30年前と比べると如何かな？と考える事も多いですが、長く続けていればそれだけでも、また思い出して遊びに来てもらえて嬉しいです。継続って…大切ですね！！！！

(5) 日本文理大学天文部の皆さん見学に来られました。

先月に引き続き、6月例会にも日本文理大学天文部から、石井部長さんをはじめ計6名の天文部員さんが例会に参加されました。協会会員の平均年齢と天文部の平均年齢の差はどのくらいかな？・・・と考えていたら・・・自分のこともよりも若い事に気がつき楽しくなりました！！皆で自己紹介しましたが、協会員のおじさん・お姉さま(笑)方の超マニアックな天文活動話を楽しそうに聞いてくれた天文部の皆さん、ありがとうございました！！今後もよろしく！！！！

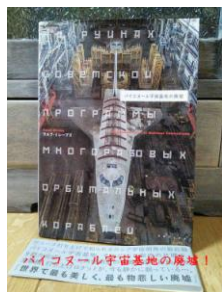
天体写真鑑賞中の
文理大天文部の皆さん

(6) 多田さん再来襲！！！！(笑)

例会雑談中、いきなりドアが開いて女性が侵入してきました。あれ？多田さんに似てる・・・でも彼女は四国に居るはず？・・・人間って思いこむと認識するのに時間がかかるようですね！それとも年のせいか？・・・(笑)

またまた大分に、大分天文協会例会に参加するために遠路来てくれました！！！！凄い行動力の県外会員の多田さんにはいつも驚かされますが、とても嬉しいです！！
「どしたん？多田さん？」と聞くと
「会長が見たいって言ったから(持って)来たんや！！」と一冊の本を手渡されました、それは・・・「バイコヌール宇宙基地の廃墟」と言う題の写真集です。中身は「プラン」・・・そうです、旧ソ連版のスペースシャトル「プラン」が放置されている廃墟の様子の写真集です。ここで記憶がよみがえりました、一週間くらい前にFacebookに多田さんがこの本を買ったと投稿していました。その「プラン」の写真を見て、「いい写真集ですね、見たいな！」と感想書いたら「じゃあ今度例会に持って行くわ！」と多田さん。今度と言っても、何時か・・・先の話だと思ってましたら、早々に1週間後の例会に合わせて大分まで遠征されてきました！凄い行動力の方ですね！！！！嬉しいばかりです。お土産に和三盆のお菓子までいただき感謝です。皆で美味しくいただきました！！！！多田さん本当に参加ありがとうございます！！！！

追伸：例会の集合写真は皆真面目な顔して写って面白くないという多田さんの教育的指導が入りましたので今月の写真は少しくだけてます・(笑)

カノープスを語る多田さん！
(再び四国より例会参加！！)

(7) 自己紹介・観測報告

例会出席会員から自己紹介＆最近の観測報告など話していただきました。観測の話題の中心はやはり「惑星」で、有名な赤彦肉丸君などの紹介もありましたが、惑星についてはやはり足立さんの頑張りが凄いのて色々話をいただきました。

惑星は何と言っても気流・・・が一番の様で、足立さんの観測所は空の暗い山の上ですが、気流的には平野の町の中の方が良いそうで、悩んでるそうです。四国在住の多田さんは、全国をまたにかけた活動や望遠鏡博物館の紹介、大好きな星空の話・・・特にカノープスについて天文部の皆さんに写真を使って熱く説明していました！！(笑)



惑星撮影術を語る足立さん！

(8) 会誌「NEWアストロインフォメーションNo.097」発行と提案

(暫定)編集長に就任した藤吉さんから、NEWアストロインフォメーションNo.097発行報告がありました。97号は26ページ4.2MBと更にボリュームも中身も増加しました。4月の晴天が多かった事も有り、会員の皆さんの観測投稿が多く、特に惑星は今年の火星大接近の準備もかねて皆さん観測数が増え上りに増えて凄いなってなってます。おかげで、ますます見ごたえある会誌となりました。観測投稿した会員の皆さんと藤吉編集長に感謝です。

続いて、会誌の発行について藤吉編集長から以下の提案が有りました。Yahoo!ボックスにアップしていた会誌のPDF版はMMで配信したPDF版と同じ容量(3~5M)でしたが、98号は通常のメール配信しているものをA4版として、それと同時に、Yahoo!ボックスからのダウンロード限定でHQ版、を作成してみたいにします。HQ版はA4版に比べ実は紙面サイズが非常に大きいので、ファイルサイズは10倍ほどになってしまっています。しかし、タブレットPCなどを使ってPDFを電子書籍として読むスタイルの場合、指を使った拡大操作が可能になりますから、掲載画像のクオリティをあげて拡大して楽しめるようにした、というのが、HQ版の目的です。関心のある写真などは拡大できるクオリティが有ります。98号のHQ版は、ファイルサイズが30MBほどになっていますが、Yahoo!ボックスからのダウンロードは可能はずです。もしタブレットPCをお使いの方はお試しください。万一大きいサイズがダウンロードできない方のためにMMと同じ小さい容量版(A4版)もアップします。



会誌電子書籍化を語る藤吉編集長！

(9) 「機材・お宝紹介」コーナー

DOB用軽量ADCシステム紹介
山本のニュートン式ドブソニアン用の軽量ADCシステムを川端氏に作ってもらいました。手持ちのピクセンのフリップミラーをベースに接眼部に負担をかけないよう軽量化。拡大レンズはタカハシのオルソ18ミリ。バリフリスムは1度×2システムです。そこに市販のIRカットフィルターを取り付けました。実践で投入したばかりですが、心配された重量も何とかバランスが取れてファーストライトも何とかうまく行きました！川端氏に感謝です！！！！！！

川端氏作：惑星撮影用
ADCシステム

(10) 画像処理セミナー

集合写真を撮って、自由解散になった後、今月も、藤吉さんを中心に画像処理セミナーがはじまりました。パソコンの周りに人だかりが出来ました。今月は主に惑星撮影ソフトのFireCaptureやAutoStakkert! 中々手強いですね！！！！

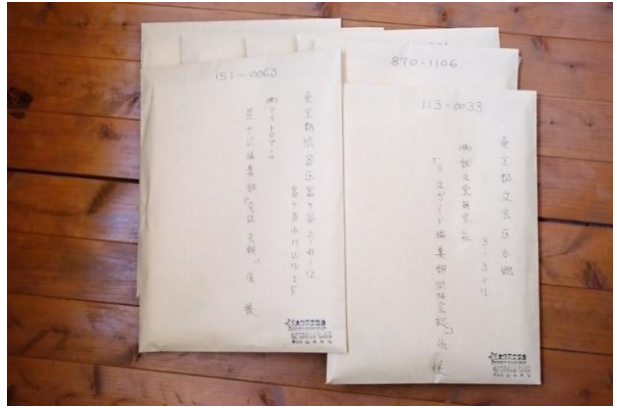
(11) 「今月のオークション」コーナー

「南限ギリギリ天体観測＆天文気象講座」
・・・今月はお休みでした。

藤吉編集長の活躍で会誌が復活して早くも3号が発行されました。そこで、これまで会誌を送ってくれていた会友の方々（5会）と天文雑誌社2社（星ナビ・天文ガイド）の計7か所に95・96・97の3号を印刷して発送いたしました。何時も会誌を送っていただくだけで申し訳なく思っていましたので少しだけ肩の荷が降りた気分です。

ただ、印刷費（コピー代）が実費で6405円、送料が2660円、計9,065円 掛かりましたので引き続き会報を送ることは難しい気がします。どうしたものでしょうか・・・？

事務局



アストロ・インフォメーション感想

福岡星の会の豊福様（以前大分気象台勤務で大分にお住まいだった方です）からアストロ・インフォメーション感想が送られてきましたのでご紹介いたします。感想頂くとても励みになりますよね、編集長！！！！（笑）
会誌の復活は、福岡星の会様の会誌「星☆盗」の立派さをみてこんな会誌をまた作りたいね！！と話が盛り上がったわけですから、大いに感謝しなければなりません！ありがとうございます。福岡星の会様とは、以前より合同キャンプなど話してありますが、今年の夏の清和スターフェスタで実現するかもしれませんので楽しみですね！！！！今後ともご指導お願いいたします。

事務局

こんばんは、福岡星の会 豊福 です。

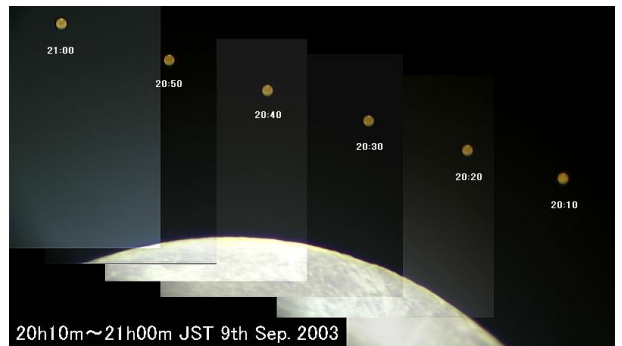
本日、「アストロ・インフォメーション」3冊受領しました。ご恵送ありがとうございます。非常に興味深く読ませていただきましたが、大分天の活動の活発さには頭が下がる思いです。かく言う福岡星の会といえば、定期的な会合の回数は少なく、その少ない会合の内、来る5月19日に予定されている、九重での観望会も天気が怪しく、予定通り開催されるか心配なところなんです。どうも、当会の観望会は天気に恵まれることが少なく、ここ3年ほど、まともに星空を見られないことが続いています。今年こそは！と思っていたのですが、・・・。

話を戻して、送付いただいた「アストロ・インフォメーション」は、当会の会員が集まる機会を見て持参し、皆に回覧したいと思います。内容が濃く、例会の様子や、会員各位が撮った写真はもとより、観測や撮影のノウハウも参考になる事が多く、中には「今度試してみよう！」と思うような事柄も多々有り、読み応え十分です。

今後の紙媒体の定期発行は未定とのことですが、PDFファイルでしたら、私にメールで送っていただければ、当会の会員に参考となるページをピックアップして、メーリングリストに皆に情報共有したいと思っていますので、次号からよろしくお願いいたします

今年は15年ぶりの火星大接近ですが、前回2003年の大接近は、ちょうど大分勤務のときでした。あのときは、大分岩田町の宿舎にも12cm屈赤を持ち込んで、晴れた夜にはベランダから観望・撮影していました。火星と月の接近が見られときには、当時はやり始めていた、Webカメラによる撮影で連続写真を撮った懐かしい思い出があります。15年経ったいまは機材も高性能になって比較的容易に惑星撮影ができますが、それでも、好シーイングに恵まれなれない良い画像は撮れない訳で、惑星には、「一にも二にも“シーイング”」ですね。わたしも、今年は手持ちの機材を駆使して鋭意火星の撮影に挑もうと思っています。

最後に、15年前に大分で撮った火星と月のの接近の連続写真を添付しますので、ご笑覧ください。



それでは、この辺で失礼いたします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
豊福 隆夫
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

会誌受領



大分天文協会顧問の田中千秋さんから「関東天文協会の天文台通信151号」が届きましたのでご紹介いたします。年間の観望会スケジュールのポスターも同封されています。なお、神津牧場天文台のHPは以下だそうです、皆さん是非ご覧ください。
<http://kouzu-obs.jp/>

事務局

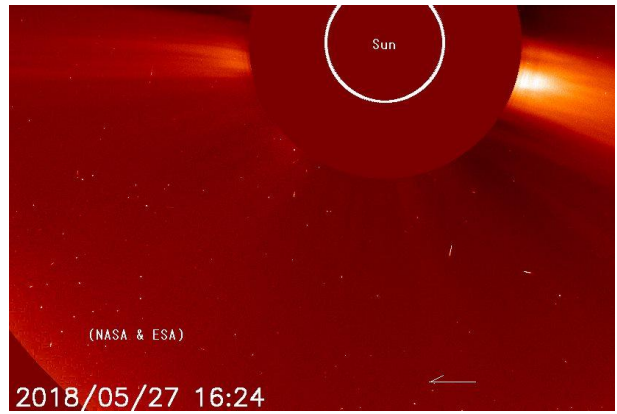
お世話様です。関東天文協会天文台通信編集人 田中千秋 です。この度、天文台通信151号が完成しましたので、添付してお送りします。先月、会員のみを対象とした150号を発行しましたので、飛び版となってしまいましたが、ご了承ください。今年は7月に火星が大接近しますので、神津牧場天文台としてもその対応として、大接近日の前後の日程は、極力滞在員を置くようにいたします。ご都合がございましたらぜひお越しください。よろしくお願いいたします。

内那さん259個目の彗星発見！ おめでとうございます！

大分天文協会の内那さんが、またまた新彗星を発見されました。
おめでとうございます！！！！素晴らしい一言です！
太陽観測衛星SOHOでの発見は今年2個目、通算259個目だそうです、
素晴らしいですね！ご苦労様です&おめでとうございます！ **事務局**

私(内那)は、太陽観測衛星SOHOに搭載されているコロナグラフ、
LASCO-C2画像の、2018/5/27、15h26m~15h37mの2枚の
画像から、Kreutz(クローイツ)群の彗星を発見しました。
15h26mの画像上の彗星のピクセル座標は、
X=551、Y=1016、(1024X1024、Upper Left)です。
SOHO彗星は今年2個目、通算では259個目の彗星となりました。こ
のほかにも、2個のSTEREO彗星の発見があります。
I discovered a Kreutz group comet in LASCO-C2 images of
May/27/2018.

内那 政憲



2018.05/30付けの熊日新聞に川端さんの木星画像掲載

川端さんの木星観測画像が熊日新聞に掲載されました
おめでとうございます！！！！

事務局

5月30日7付けの熊日新聞に掲載してもらいました。
撮影する励みになりますね(^^)

川端 孝幸



2018.05/24 科学館記事、大分合同新聞夕刊に掲載

全国で数少ない、科学館が県内に無い大分県！長年、科学館設置運動
のお手伝いをしていいますが、地元新聞：大分合同新聞の5/24の夕刊
1面のほとんどを使って、「県内に科学館を！」という記事が掲載さ
れました。凄くありがたいです！！！！合同新聞をとってる方は是非
ご覧ください！！！！また、同新聞のネット版（無料会員）になれば
そこで読めます。

なお、我々の言う科学館とは以下です。
※理工系の複数分野を扱う施設を科学館とし、設置を求めます。
いわゆる総合科学館です。

追伸
科学館は難しいイメージがあるかもしれませんが、最近作られて
第二から三世代の科学館はとんでもなく面白いですよ！しかも科学館
の平均入館料は僅か数百円！地元の子供たちは無料と言う自治体も多
いです。安く楽しく遊び遊べる、それが今の科学館です。そんな楽し
い施設が大分県に（だけ）無いって・・・皆さん知ってましたか？
身の回りにあるもの、日常の衣食住全て科学に関係があります。音
楽も美術もスポーツにも科学はとても大切です。そんな科学を、体
験・学び・楽しめるのが科学館です。日本中・世界中に多くの科学館
がありますが、残念ながら、大分には総合科学館も博物館も有りませ
ん。単一科学の天文施設はありますが、総合教育をするためにはもっ
と複合的な施設が必要です。その方が、今ある天文施設のより多様の
に活用活躍できますから！

大分の皆さん、大人も子供も楽しみ学べる科学館の事をもっと知っ
てみませんか？

山本 幸司



大分天文協会ホームページにインフォメーション掲載



大分天文協会のホームページからも、このインフォメーションが読め
るようになっています。ぜひご活用ください

<http://astro-oita.org/>

2018.05/03 佐賀天文協会太良観測所20周年記念式典

佐賀天文協会太良観測所20周年記念式典が5/3に開催されました。会友の大分天文協会からも川端副会長・川端ひとみさんのご夫妻が出席してお祝いしていただきました。

川端副会長、会を代表してお祝いに行っていたくださりありがとうございました。観測所が増殖してるのに驚きました。皆さんの活躍の賜物ですね！サインしたこと完全に失念してました、懐かしい思い出がよみがえりました。お疲れ様でした！！

佐賀天文協会太良観測所20周年記念式典 川端 孝幸 & ひとみ

佐賀天文協会太良観測所20周年記念式典に参加して参りました(^.^)
20年ひと昔！柱のキズならぬ、ピラーのサインを見つけて大喜び\(^o^)/

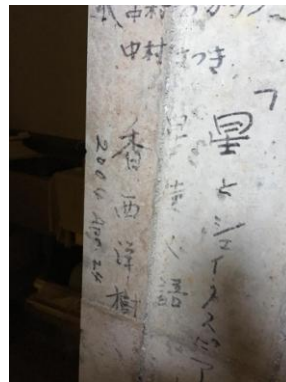
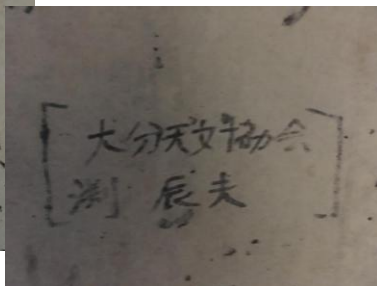
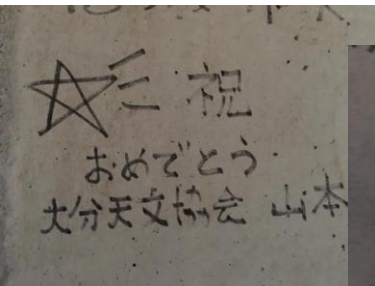
／
当時は無かった60センチキック式反射望遠鏡やメンバーの方の観測所が
沢山！

(草野さんの愛機もしっかり拝見致しました！)。

更にソーラー発電設備まで!!

進化した太良観測所はますます進化、発展されること間違いないですね。

佐賀牛美味しく頂きました(^.^)



編集部より

実は4月末にFacebookに以下のようなご連絡をいただいていたが
発行の都合でインフォメーション上はご案内を掲載できませんでした
申し訳ありません

★★ 「佐賀天文協会太良天体観測所開所20周年祈念式典」 ★★

佐賀天文協会会長の副島です。皆様の活発な活動などを本Mで楽しく読ませていただいております。ご案内が大変遅くなり恐縮ですが、弊会太良観測所が開所20周年を迎えます。ちょうど20年前に、当時の百武太良町長やコメットハンターの百武裕司さん、熊本の宮本先生や長崎、福岡、熊本、大分の各天文関係者、など100名を超える方の参列者を得まして、開所したのが、つい先日のような気がします。お陰様で、太良観測所も地元の方の温かいご支援を頂き、太良地区の文化、教育、観光治事業の発展に、微力ですが貢献させて頂いている事大変うれしく感じております。つきましては、ささやかながら下記にて祈念式典を開催いたしますので、ご都合の許される方は、是非ご参列いただければ幸いです。参加は自由ですが、祈念式典後に佐賀牛バーベキューでの懇親会を開催しますので、懇親会参加希望の方は、事前にお知らせください。会費は不要です。

記

一般社団法人佐賀天文協会太良天体観測所開所20周年祈念式典

日時：2018年5月3日(木・祝) 11:00～

場所：佐賀天文協会太良天体観測所
佐賀県藤津郡太良町大字系岐字嘉瀬
連絡先 090-3194-4929 (そえじま)

備考：天気が良ければ式典後に太陽観測(プロミネンス・黒点)を予定、また夜は記念の観望会を開催予定です。

2018.05/19 久住高原・星空の巡り に参加しました

今年度3回目も、雲と、冷たい強風に悩まされましたが、何とか無事に開催されました。雲間から、三日月・金星・木星・春の星座などをご案内させていただきました。

今年から毎月第三土曜日にくじゅう花公園で開催される星空観望会に「お客」として参加してきました。星友のお二人（菊池さん・薬師寺さん）が望遠鏡を使ってお案内をされ、県立図書館の馬場氏が解説をされる、星空観望会です。毎月定例の観望会ですし、終了後は花公園駐車場で居残り観望も出来るようなので（要確認）来月からも関心のある方は、お問い合わせの上、参加如何ですか？

菊池さん・薬師寺さん・馬場さん・・・毎月大変でしょうが頑張ってください！可能なときは、お邪魔虫お助け隊に参加します！協会会員の皆さんも是非参加しませんか？？？

山本 幸司



2018.05/26 第一回・四季の星空観測

四季の星空観測無事終了しました。

朝の雨と打って変わり青空の広がる夕方を迎えました。おかげで四季の星空観測は来観者の皆さんに喜んでいただけるものになりました。応援に駆け付けてくれた太田さんと息子さんに感謝です。集まったのは野津原中部校区の約30名近くの皆さん。子どもたちも多く来てくれ熱心に拡大された月の姿に見入っていました。

木星と月面と金星を見せたのち スマホで月面を撮影するのにしばし大人たちは夢中になってました。手持ちでしたが結構シャープに撮れた人も多くいました。旧野津原中部小学校グラウンドは東南方向に高い木立がありますが、そのほかは視界も良く明るい光害もなく観望するには申し分のないところです。香りの森に行く途中の道沿いですので分かりやすいと思います。

最後にM13を入れて球状星団を見せて9時にお開きといたしました。機材は太田さんのプランカを入れて自分が持ってきたものとで4台あり倍率もそれぞれ違う設定だったので、初心者にも楽しんでもらえたのではないかと思います。風もなく空も澄んでいたのも好条件のもと星空観望会を無事終えることができました。雨の日バージョンの映写幕とプロジェクターも用意して、国立天文台に許可申請も出しましたが、晴れて沢山の子どもたちや親御さんに生の星空をお見せできて一安心しました。

雨の日バージョンでM i t a k aが使えないといひのことも予想してパワーポイントで作成した画像集にアストロインフォメーションで送られた天文協会の皆さんの画像を拝借しました。今回は使わなかったけれど今後雨が降った時などに使わせてもらおうと考えています。画像の撮影者の名前は枠外に表記いたします。よろしくお願いいたします。

丸野 閑由

観望会の様子を追加で送付します。コメント的には特に追加はありません。周囲に特別強い外灯は無いようでしたので、星野撮影もできるでしょう。撮影しませんでした。

太田 輝章



2018.05/26 のつはる少年自然の家：春の星空散歩

2018年5月26日(土)のつはる少年自然の家恒例の「星空散歩」が「魅惑の星「木星」と春の星座たち」と言う副題で開催されました。梅雨の先走りの雨がお昼まで降っていて心配された天候でしたが、夕方から急速に晴れてきてとても素晴らしい快星の観測会となりました。当初40名の募集でしたが、130名以上の申し込みがあったそうで、抽選で71名に絞ったそうです。参加できなかった方、申し訳ありません。山本夫婦が担当いたしました。

山本 幸司

毎年恒例の「星空散歩：春編」です

- ・18：30到着
- ・18：30～19：30 準備

惑星（川端氏・太田氏 協力）・彗星・星座・星雲などの山本が撮影したミニミニ天体写真展を設営（自然の家所長さんをはじめ職員の方設営してくれました・礼）PP（パワーポイント）設営、その他曇天時対策の以下のオリジナル用品準備設営

- ・惑星の距離を感じよう。
- ・月の満ち欠けを体感しよう。
- ・星座は回るor地球が回る。
- ・月と地球の距離を感じよう。
- ・隕石に触ろう。



2.写真展設営中



3.ミニミニ写真展

- ・19：30 開会式あいさつなど
- ・19：45～20：30 天文講座

今回のメインテーマは「木星と春の星座」ですが今年は、火星の大接近が有りますし、土星も観望好機です。今夜は月も見頃ですから、星座の話の前に月惑星の解説から始めました。

まずは、月について、時間の関係で、月の大きさについてのみ説明、

「見かけ上 月は、どのくらい大きさと思いますか？」

「直径10センチの紙パイプくらい？5センチのパイプくらい？

それとも5円玉の小さな穴くらい？どれくらいだと思いますか？」

・・・と質問！手をあげてもらいましたが、一番多かったのは5円玉！！！！質問の雰囲気を読んだようで（笑）正解者多数でした。大きく見える月ですが、手を伸ばした先の5円玉の穴に入ってしまう位の大きさの月が、あんなに大きく見えて感じる事の不思議さに皆さん驚いたようでした！（笑）

続いて、夕方西空に金星が見えてること

続いて、メインの木星について、オリジナルPPで解説いたしました。川端氏から借りた木星の大赤斑の動きの動画で自転の速さを感じてもらえたようです。

続いて、土星について同様にオリジナルPPで解説、輪の有る土星は皆さん大好きですね！！

惑星の最後に今夏大接近の火星について解説いたしました。川端氏の継続観測で、日に日に大きくなっていく様子がよくわかっていただけたと思います。夏が楽しみです、是非観測しに天文台に行きましょう！！



4.会場風景



6.解説用PPの山本氏さん担当

惑星の話が済んだ時点で講座の残りは5分くらいでしたので春の星座は、屋外でゆっくり解説する事にし、配布資料でおおくまざ・うしかい座・おとめ座・しし座・北斗七星・春の大曲線・春の大三角の解説のみを簡単に話しました。



5.解説中



- ・20：30～21：30 星座観察・望遠鏡で木星観察

今回は人数が多いので2班に分かれてもらいました。自然の家の40cm主砲では木星の観察、こちらは職員の方が担当していただきました。観察する時にはガリレオ衛星が4つ、3：1で見えてますよ、是非それも観察してくださいと伝えました。私達夫婦は屋上に移動し、そこで星空観察を担当いたしました。今夜は素晴らしい快星の空ですが、月齢11の大きな月がすごく明るく、星座観察にはあまり適さないかもしれません。それでも、屋上に上って月や木星、だんだん星が見えてくると「うわ～、綺麗！！！」と感激の声が上がってました（笑）

2班とも同じような話になりましたが、妻が言うには多少違う話もしたようです（覚えていない・笑）まずは西空低空に見える金星の紹介と、金星の解説。西空には冬の星座が一部残っていましたので、ふたご座・こいぬ座などの説明も。続いて、北斗七星の説明と、おおくま座の説明。北斗七星を使つての北極星の探し方の説明。春の大曲線を説明し、アルクトゥルス・スピカはすぐに分かりますがうしかい座・おとめ座は月の明るさで星座の形が分かりません・（笑）しし座を説明し尾っぽの先のデネボラを含む春の大三角の説明し春の星座の領域の説明をしました。

明るい月とその横の明るい木星、大接近の火星はこの木星より明るくなるんですよ・・・と言うと「楽しみ！！」との声が上がってきました。

最後に東の方には夏の星座が見えてきてましたので紹介しました。昇ってきたさそり座、アンタレスは火星と同じように赤く見え昔から赤い星は不吉な事象と思われることが多かったこと、西南戦争の時にかせは大接近で凄く赤く明るく見ていて西郷星とよばれてたことなども興味を引く話です。

牽牛星のアルタイルは見えませんでした。織姫星のベガ、はくちょうざのデネブは見えてきましたので、紹介してもらい星空星座観察を終えました。快星で雲を心配しない観測会は安心してきてとっても楽しかったです。



1.星空観察会中の星空の動き比較写真



6.星空観察解説中

- ・21：30～終わりの会

このような内容で進めた今回の天文教室でした。主催の自然の家の職員の方の皆さまお疲れ様でした、拙い説明でしたが、宇宙に関心興味のある子どもさんたちのお役に少しでも立てれば幸いです。次回も呼ばれば頑張りたいです。

2018年6月02日(土)星の聖地：竹田市久住町で白丹小学校観望会が「こどもゆっくりictルームかてて」の主催で開催され、講師として招かれました。白丹小学校の子供たちを中心に、竹田・荻町の小学生15名と、学校・地元・外国の方 15名、計30名の方々が参加し、大いに盛り上がりました！天文講座と天体観測は山本夫婦が担当させていただきました。写真の多くは阿南氏から提供いただきました・感謝
山本 幸司



- ・17：30到着
- ・17：30～18：00 準備

まずは、グラウンドにドブソニアンを組み立てて観測準備を整えてから屋内の会場のランチルームで座学の準備に取り掛かりました。惑星（川端氏 協力）・彗星・星座・星雲などの山本が撮影したミニミニ天体写真展を設営・ランチルームの大きな机に並べて来場の皆さんに見ていただきました。



- ・18：00～19：00 プログラミング体験

今回の主催「こどもゆっくりictルームかてて」さんはその名目の通り、コンピュータープログラミングを通して子供たちにictの体験を行ってる会ですので、天体観測会の前にはまずはプログラミング体験を行いました。パソコン上の「猫」を前後に自由に動かすプログラミングを子供たちはあっという間に・・・凄いい時代になったもんだ！！最後に、主催者の阿南氏が作った光害シミュレーションプログラムの紹介を行ってくれました。車や街灯の少ない久住で見える北斗七星、次第に車や街灯を増やして街（大分？）に近づく空が明るくなって、北斗七星の星灯りが明るい空に消えて見えなくなる…そんな光害を体験できるプログラムでした！

これ・・・分かり易くていいです、是非ほしいな！！！（笑）



- ・19：00～20：00 天文講座

子供たちに宇宙の事で伝えたいことは山ほどありますが、今回は「惑星」を中心に座学を行いました。今日の観測会の時間帯に見える惑星は金星と木星ですので木星が話の中心になりますが、この先の夏休みには火星の大接近がありますし、同時に土星も観望好機ですから、木・土・火の3惑星についてオリジナルPPTを使い解説いたしました。乗りの良い子供たちとの楽しいやり取りに時間配分がくると、春の星座解説や、用意したプリントの説明の時間が無くなってしまい、超駆け足で説明しました。



- ・20：00～21：00 星座観察・望遠鏡で観察

グラウンドの望遠鏡の所へ移動して観測会のスタートです。まだ薄明中で2等星くらいまでしか見えませんので、まずは金星を・・・と、思ったところ西空に大きな黒雲が！！！！望遠鏡を向けましたが、金星が雲から出たり入ったりで、諦めて木星を先に見ることにしました。GOTO DOBの自動追尾は子供たちに受けまして「カッコいい！！」「すげー！！」「これ幾ら？？」等々の歓声が沸き上がります。「自動導入も追尾も、さっきみんなが行ったのと同じようなプログラミングで動いてるんだよ！！」と先の行事をフォロー！

今夜の木星の観測で特に観察してほしい事は「木星の縞模様とガリレオ衛星」と座学中に説明していました。ガリレオ衛星は右左に2つつ見える事もシミュレーション図で解説してるのでその通りに見えるかをまずは低倍率で観察です。順番にみんなに見てもらいましたが「木星の線が見える」「衛星は？小さな星が横に見える？何個見える？」「2つと2つ！！！！見えた！！！！」

衛星はきちんと見えたようなので、木星本体を拡大しようと思ったら「金星が見えてきたよ！！！」と子供たちが教えてくれました。それではと言う事で、金星に再度望遠鏡を向けました。だいぶ低空になった金星を見てもらっていると、「金星綺麗だけど、端が少し赤いね？」と素晴らしい感想！！実際の色でなく、光のずれについても少しお話を・・・

金星を見た後、木星に戻して倍率をあげて拡大した木星を見ていただきました。

「木星の線が見る！」「お話であつた大赤斑も見える！」「ぶよぶよしてるね・・・」「ぶよぶよ？・・・あつ、さっき話した空気による動きだよ！」

子供たちの感想は何時も愉快です・（笑）



望遠鏡で観察しながら、座学でも話した宇宙の広がり・天体との距離と時間に関しての説明もしました。今 見えてる金星までは10.5分かかる距離、木星は37分と遠い事、昇ってきたさそり座のアンタレスは607年もかかる事・・・みんな驚きのようです！また、惑星を見ながら星座の説明も少し行いましたがちゃんとした解説は、山本久美さんが行いました。北斗七星の探し方、ミザールの星が2つ見えるかな？北極星を北斗七星を使つての探し方。春の大曲線を説明し、アルクトゥルス・スピカをつなげうしかい座・おとめ座の解説、しし座を説明し尾っぽの先のデネボラを含む春の大三角の説明し春の星座の領域の説明をしました。

春の星座以外にも、西空に残った冬の星座、東の空に見えてきた夏の星座も説明しました。

星座の解説が済んでちょっと時間が有ったので望遠鏡で見る最後の天体は何にしようかな？と悩みましたがせっかくの久住の暗い空ですから、大きな球状星団M13を見てもらう事にしました。25センチDOBですから集光力は大きいので思い切って倍率をあげて「どんなふうに見える？」と感想を聞くと

「なにこれ？つぶつぶが一輪あるじゃん！！」と大興奮の子も居いました。やはり暗い空で見る球状星団はインパクト有りますね流石久住の暗い空です！

最後に、この久住の暗い空を守って欲しい事や、宇宙の成り立ちなどについてもほんの少しだけお話しして締めくくりました。薄明中は雲が多く心配しましたが、暗くなるにつれ空が晴れてきて最後は久住の暗い空に多くの星々が見える素晴らしい観測会となりました。

毎度、拙い説明でしたが、宇宙に関心興味のある子どもさんたちのお役に少しでも立てれば幸いです。次回も呼ばれれば頑張りたいです。

主催してくれた阿南さん、協力してくれた白丹小学校の有田校長先生をはじめ職員・地元の皆さま方、ありがとうございました！！



2018.05/09 香りの森・多田さん出撃&長大流星！

夕食後まったりと夕寝(?)をしていると、所用で大分県中の四国在住県外会員の多田さんからメールが入りました。

「今 大分です、今夜晴れてますよ、何処か星見に行きましょー!!!!」と・・・!!! (笑)

どこに行きますか? 足立さんの観測所でも急襲しますか?・・・と言う話もありましたが、「天気の良い今夜はきっと観測に忙しいでしょうから怒られそうですね」と遠慮しまして、それなら折角ですから、星の綺麗なホームグラウンドの香り森へ!と決まりました。大急ぎでドブソニアンなど観望用の機材を積み込みいざ出撃! 香りの森に21:30到着し合流しました。久々の香りの森は快星・満天の星空です! 早々に、観測機材を下ろして準備をしました。今夜は多田さんに香りの森の星空を楽しんでもらうのがメインなので、観測は、三脚に魚眼レンズを付けたデジカメを乗っけての固定撮影のみ。流星が写ってくれてラッキーです。

まずは、昇ってきた木星を見てもらいましたが温度順応していないドブでも意外と落ち着いた木星像です、今夜は意外とシーイングがよさそう!!! 覗いているうちに、木星からエウロパが離れていく様子が見えました。



鏡が馴染む間に、ドブでメシエ天体観望!

M104・M65・M65・M51・M101・M81・M82・M57・M13・M4を観望しました、いずれも暗い空で良く見え、満足してもらえたようです。

銀河探訪の間も、多田さんは香りの森の暗い星空を心ゆく迄満喫していましたが、今夜は結構流星が流れていて、もしかすると大物が・・・と期待していましたが、22:40位に

「わああああ!!!!!!」と多田さんの絶叫が香りの森に響き渡りました!(香りの森の野生動物の皆さんごめんなさい・(笑)) 「大きな流星が!!!!!!」と叫び続ける多田さん! 「流れたと聞いて見上げてどうせ遅いだろう・・・」と思いながら見上げたら、長大な流星の最後の部分を見ることが出来ました。それほど明るくは無かったようですが、相当に長くゆっくりな流星だったようです。帰宅後、魚眼レンズで固定撮影のデータを見ると、ラッキーなことに写っていました!! 予想通り、火球と言えるほどの明るさは有りませんが長大な流星だったようです!!



「2018.05.09 流星」
日時: 2018.05.09 22:40:24~22:40:49
撮影地: 大分県香りの森付近
機材: FUJIFILM X-A1//SAMYANG8mm F2.8 UMC Fish-eye II
ISO 1600?固定撮影 25sec
Photoshop CS2にて画質処理
撮影: 山本 幸司(大分天文協会)

流星・木星・メシエ天体、そして何よりも香りの森の綺麗な星空を満喫してもらえたようで、満面の笑みの記念写真を撮って香りの森を後に帰路につきました。

山本 幸司

2018.05/17 京都市青少年科学センター襲撃記

出張のついでに観光(?)が科学館・プラネとは星屋さんの鏡ですね! しかも高精度のジンデン鏡並みの!!! (笑)

京都府は、観光、特に歴史関係が有名ですから、天文関係と言えば京大・花山くらいが有名でしょうか? 科学館にも天文関係が多くないというのもそういったわけかもしれませんが、事務局はここに入った事は無いので、科学館運動の参考になります。ありがとうございます。どちらかと言うと少し古い世代の科学館のようですが、それでも、そこで熱心な解説員と出会えると子供たちにおおきな影響を与えられます。決して箱が大事なのではありません。プラネも半分は生解説とは素晴らしい、睡眠不足の我々には、半分楽し、半分癒やし・・・でしょうか? また、他の県に行かれて天文台や科学館を訪問で来た情報おねがいします。もし、パンフなど余分にもらえたら科学館を作る会・協議会などに資料としていただけたら幸いです。事務局

仕事で京都に行ってきました。いくつかの旧跡名勝は暗くなってからしか行けませんでした。科学センターだけはしっかり昼間に襲撃してきました。平日午後ということもあって、子供たちと展示物を取り合うこともなくゆっくり見て回りましたよ。

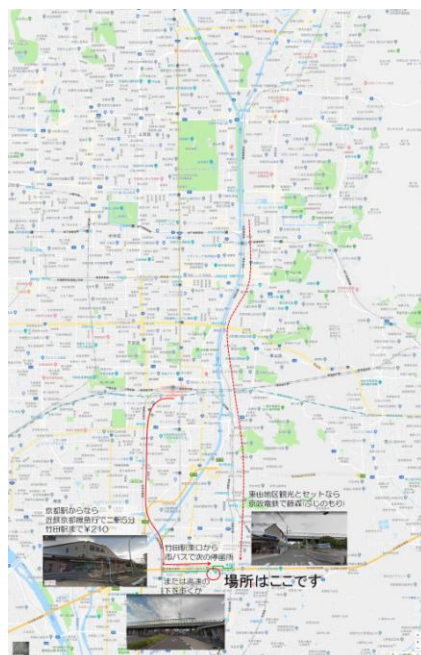
屋外に岩石や植物の展示、2階には図書室があり、懐かしい本が多数並んでいました。その周囲に、フーコーの振り子、地震体験コーナー、恐竜展示、化石展示鴨川の生態系、人体の仕組み、など3階には元素表、炎色反応、光の性質、滑車、真空実験、気象体験、など。あれ? 宇宙や星に関するものは??? 3階に地球の公転と見える12星座の関係の展示が・・・それだけ??? 2階にプラネタリウムがありますが夕方まで番組放送の予定はないので行ってもなあ・・・と思いつつ、渡り廊下に行ってみると・・・なんとふつうは誰も来ないだろうと思われるそこに天文の展示が。88星座の図解、土星や木星の写真があり、プラネタリウムの入り口直前に、はやぶさのミニ映画、金環日食の動画、そして任意の年月日の惑星位置を表示できる展示、がありました



が、星好きにはちょっと物足りない展示配置、展示数、でした・・・

プラネタリウムは、番組放送が半分、肉声解説が半分、後半の番組放送はベガとアルタイル、アルクトゥルスとスピカ、という男女の物語のアニメで、せっかくだから真上に見上げる場所に座ろうとして座った姿勢も手伝って、すっかり夢の中。肉声解説はとても柔らかな女性のアナウンスで楽しめましたが、慣れないのかあるいはお客さんが少なくて気合が乗らなかったのか(僕も含めて4~5組でした) 少々解説をかんてましたね。その危うさが、また肉声解説のいいところでもあります(*≥m≤*)

交通の便の悪いところで平日ということもあってか、名古屋・大阪・久留米、とは全然違う雰囲気でした。大分に科学館がほしいと思っていますが、どういう風にすればみんなに来てもらえる科学館になるか、考えるきっかけにもなりました。藤吉 健児



15年ぶりの惑星撮影

山本さんが、なんと15年ぶりに惑星撮影に復帰されたそうです。その間に撮影方法は目を見はるばかりの変化を遂げていますので、対応に苦慮されているようですが、考えようによっては、15年前であればドブソニアンでの惑星撮影は、ここまでの精細さを出すのはとても無理だったのではないのでしょうか。山あり谷あり紆余曲折とは思いますが、兵器開発局（≧m≦）の協力の元、ぜひどんどん撮影されてください！ーに気流、二に慣れ、ですよね 編集部

2003年の火星大接近以来の惑星撮影となりました。

思えば15年前は小さなチップのToUCamと言うWebcamを四苦八苦の思いで使って微かに写った火星の模様に歓喜したものでした！その後の天体撮影は、星野写真や星雲銀河・タイムラプスなどが主体で、機材も短焦点の望遠鏡ばかりとなりました。15年ぶりの火星大接近で、星友の多くが通用赤缶と言う、15年前のToUCamなど比較にもならない性能の天体カメラを導入して惑星の素晴らしい画像を撮影しているのを見ると、どうしても自分も撮って見たくなるのは人情・・・もとい、星屋の性では無いでしょうか？（笑）わが家の大蔵省に「星仲間、みーんな赤缶持ってるんで！」と何時もの泣き落とし作戦を続けること半年！ようやく許可が出て肉丸赤缶をゲット出来ました！！！！ここまでが第一の障壁突破！

第二の障壁は、望遠鏡です。惑星には長焦点・大口径の望遠鏡が有利です。ところが、現状の機材で一番の長焦点はドブソニアンの1200mm。本当はシュミカセが欲しいのですが、これ以上はとても稟議はあげられません。そこで手持ちのDOB GOTO 10を活用するしかありません。ドブソニアンはその構造上、接眼部の重量は軽くしたいので、市販のADCや巨大なパローレンズはその重さが難点です。そこで、工作のプロ、川端氏に相談して

- ・手持ちのフィリップミラ・軽量化
- ・パローでなく接眼レンズのレンズ部のみ使用
- ・ADCレンズも軽量化部品を作成・・・等

などで工夫をしてもらいました。



5/19久住で特注機材を受け取り、ピントが出るまでは確認しましたが、その日はくしゃくしゃな強風でとてもまともな撮影は出来ませんでした。それから1週間首を長くして待っていましたが、ようやく5/26の夜に晴れましたので、天文講座と観察会の講師から帰った夜半(5/27)からテスト撮影を行いました。

機材もさることながら、撮影に使うソフトも初めてで、どうなるのか不安でしたが、やはり四苦八苦2倍位悪戦苦闘でしたが、何とか惑星の姿はとらえることが出来ました。ピントも、露出も、画像処理も・・・まったく未知の世界なので本当に大変でした！！！！ピントなど皆さんどうやってるんでしょうかね？電動の必要さも身をもってわかりましたが、これ以上の出費は無理です！

経緯台のドブソニアンの追尾も大変です（これについては川端氏から提案され装置もいただいています、昨夜はそこまで行きませんでしたので今後の課題です）

とても恥ずかしい画像ですが、ようやく買ってもらった赤缶を活用したという証拠を見せないとはいけませんし（笑）初心者マークのこの画像を出発点の記念の写真として保存していきます。ここからどのくらい向上するか？いや・・・向上できるかは・・・自分でわかりません！（笑）

大変お世話になった川端氏には本当に感謝です、ありがとうございます！

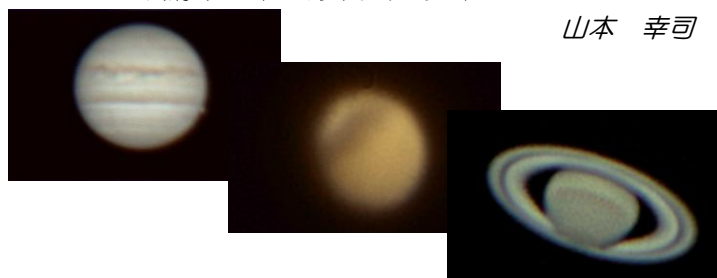
データーは簡単な共通事項だけ書いてきます。

撮影日：2018.05.27未明

望遠鏡：DOB GOTO 10 1200mm

カメラ：ASI290MC

川端式ADC/IRカットフィルター/18mm



山本 幸司

鏡筒の惑星撮影仕様改造いろいろ！

川端さんから、望遠鏡改造の報告が届きました、ありがとうございます。

天文機材・改造を仕事の一部とされている川端さん、機材の改造もお手の物！今回の改造は、シュミカセなどの筒内気流改善のためのファン取付です。筒内温度と外部温度、鏡の温度の差によって気流が乱れて、主に惑星観測などに大きな影響が出ます。その気流を安定させるために換気ファンを付ける改造は今年の火星大接近に向けて流行っていますが、穴あけなど大規模の改造となり、工作が得意でないとなんと大変かもしれませんね。その点ベテランの川端さんなら安心で、かなりの数の改造依頼を引き受けてるようですね。ファン部分も、光が入らないように3Dプリンターで作った迷光防止用のオリジナル仕様になっているそうです。関心のある方はお問い合わせください！

1) C11

惑星撮影仕様へ改造！

6センチ静音ファン3個で急速放熱。筒内気流対策です(^_^)

今回オリジナル設計のトーチカ型ファンキャップを装着。

迷光対策にも配慮しました。



2) ミューロン250(初期型)も惑星撮影仕様へ改造。

これも静音ファン3個組み込み。迷光対策キャップ付き。



川端 孝幸

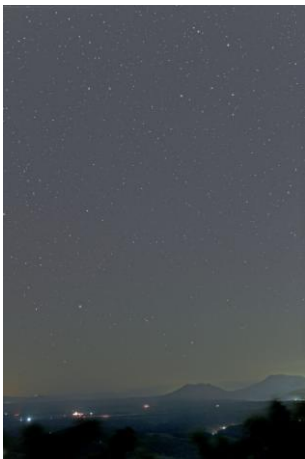
転んでもタダでは起きないガクルックスハンターのひとりごと1

ガクルックスを大分県内から見たい、と天文協会に入会した時の自己紹介に書いた記憶がありますが、その前からも含めてもう5年ガクルックスを追いかけしています。その間に次々と仲間が撮影に成功し、自分とはいうと画像処理で強引にあぶり出してはいるものの、すっきりと見えた(写した)ことはありません。

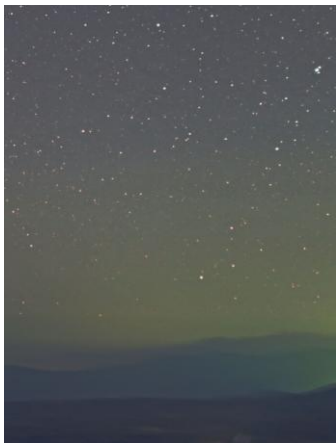
ただこれだけうまくいかない期間が続くと、なぜ？どうやって？
 という余計なことを考えるものです。

直近では6/1(金)の夕刻に九州一円晴れ、の天候に誘われて出撃してきましたが、残念ながら目標には到達できず、しかも今季一番の気流状態とも言われるこの日の惑星撮影のチャンスを逃す、といういかにも自分らしい結果となりました。

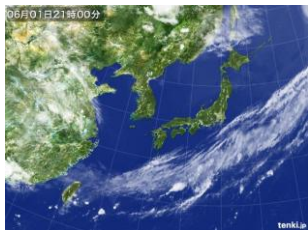
編輯部



正直なところ、ここでごんなに低空まですっきり見えることは希有、と言ってもいいと思います。ケンタウルス座の西側の端、ガクルックスを探す時に何度も見た星の並び。双眼鏡で確認できる明るい星としては、その一番南のガクルックス近くまでが確認できたので、今回はばかりは期待に胸が膨らみましたが、その一方で、今日は絶対に無理だろう、という覚悟はできていました。案の定何度画像確認しても見えません、帰宅後DSSでスタックしてみました、やはりだめでした。



なぜ「やはり」なのか・・・実は以前何度も失敗した時に、低空すれすれに見える雨雲はいったいどの雲だ？とシミュレートしたことがありました。その時に低空の雲なら鹿児島・種子島、高層の雲なら奄美、と結論付けていたのですが、今回の奄美諸島の上空に梅雨前線の分厚い雲があることがわかったのです。



2016.03/21-22



2016.03/21 0:30

上空もさることながら、地上も真っ白



2016.03/22 0:30

上空もさることながら、地上もすっきり

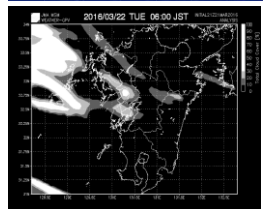
[illegible]

両日の熊本県のPM2.5の実測値です。観測時刻の数値は決して高いものではありませんが、実測値と実際の透明度は一致しない、ということも連日の別府市の空模様で感じています同じ日の数値の動きで見ると、3/21の観測前日の方が概して高い、ということだけは言えそうです。

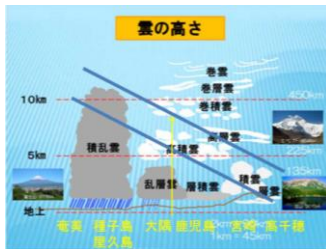
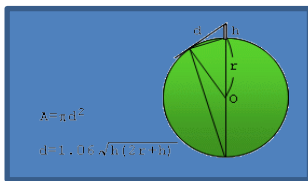


気象衛星画像で雲の状態を見ると
3/21は観測値はうっすらと雲に覆わ
れています

3/22は雲がほとんどありません。
しかし、注目すべきは、高千穂付近で
雨が降っていたことでしょうか。
GPVの過去画像を強調すると、高千
穂の上空に雲がかかっていました。



雲の高さと見える距離



地球の半径を r
 自分の位置からの距離を d
 「 d 」 km離れた所の地平線ざり
 ざりに見える高度が h
 と考えると、直角三角形の三平方
 の定理で計算ができそうです
 $d^2 + r^2 = (r+h)^2$
 雲の高さは500m～15000m
 旅客機が高度10000mで飛行す
 るとおおむね雲の上に出ますがそ
 の航路よりも高い所に雲が見られ
 ることもあります。

低い雨雲が1000～3000mにある
とするならば、注目すべきは
45～135km離れた場所
地図で確認すると、
高千穂から宮崎市にかけて
その付近に低い雲がたなびいていれば
こちらの地平線付近に見えることに
なります

高層の雲が1万メートル、とすれば
450km離れた場所
屋久島と奄美大島の間付近まで
の雲を気にする必要があるということ
になりそうです。

全光路が快晴ではなかったとしても、雨ではなく、自分の真上がPM2.5で覆われていないとすれば、黄色文字の地域の真上に、2本の青線で囲った範囲の雲がなければ光が届く可能性がある、ということなのでしょう？

転んでもタダでは起きないガクルックスハンターのひとりごと2

直近の協会の成功日のデータを見てみました。



2018.02/18 00時20分すぎ
奈須栄一さん

<https://www.facebook.com/photo.php?fbid=1807667605951533&set=gm.2093795617517045&type=3&theater&ig=1>



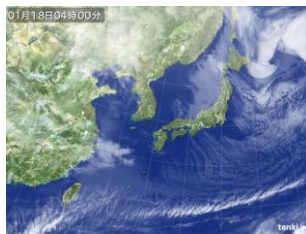
2017.04/03 23:44~24:53
山本幸司さん (山本Fさん)

<https://www.facebook.com/photo.php?fbid=1059057040861687&set=a.142550782512322.21296.100002722033868&type=3&theater&ig=1>



2015.02/15 03:02~03:21
吉野圭司さん (山本浩司さん、阿蘇野Fさん、吉野Fさん)

<https://www.facebook.com/photo.php?fbid=852877041437333&set=gm.1610437682519510&type=3&theater&ig=1>



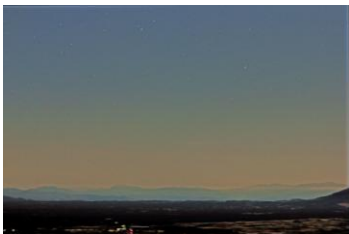
2015.01/18 05:07
山本幸司さん (田崎千草さん)

<https://www.facebook.com/photo.php?fbid=617372708363458&set=a.142550782512322.21296.100002722033868&type=3&theater&ig=1>

編集部の見えなかった日のデータを見てみました。



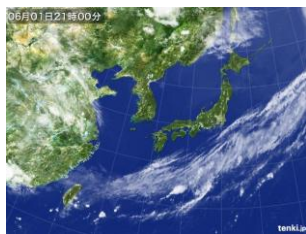
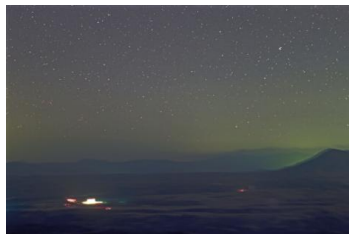
2016.03/21 00:30
PM2.5に反射する満月の明かりが邪魔をしたでしょうか？



2016.03/22 00:30
結構よかったのですが、外輪山の手前に雲(噴煙?) 高千穂付近にたなびいていました。



2017.04/29 22:00
どんなに雲がなくてもこのPM2.5では無理ですかね。



2018.06/01 20:30
こんな透明な空は希有！というほどの透明度ですが奄美の上空に前線の厚い雲が。

2017.04/29は雲としては他の協会員が成功した条件に似ていましたが、どんなに遠くが晴れていても、自分が深い霞みに包まれてはダメですね。そして2018.06/01のように自分の頭上が快晴で霞みが少なくても、種子島の南に雲があると厳しいようです。2015年01/18に山本さんが撮影に成功した時に、『南天の代表的星座「みなみじゅうじ」はご存知の方が多いと思います。そのみなみじゅうじの一番北の星を大分で見れました！！大分天文協会ガクルックス捜索隊は、以前から南天ギリギリに見えるか見えないかの、この星を大分の地で見つけたいと活動していました。(隊長は藤吉さん！)』と任命を拝しておきながら、まだ撮影できていないのは隊長だけ・・・

かと思いきや、じつは2016.03/29の画像をよく見ると・・・

だいぶ以前に比べ見える気象条件はわかってきましたので、これからは出撃のタイミングは間違わずに済みそうですかね??(笑)



2016.03/29 00:10
PM2.5も深かった上に鹿児島の上空に雲がありました。しかし・・・よくよく目を凝らすと



20180503配信 No4302

2018.04.18 M106

山本 幸司

久住山から湧いてきた雲で遮られて5枚しか使えませんでしたでしたがもったいないので現像してみました。
ノイズでですが記録として・(笑)



日 時：2018.04.18 20:28~21:29
撮影地：大分県竹田市久住・中部牧場付近
機 材：ビクセンR200SS直焦 D=200mm f=800mm
IEQ45Pro赤道儀 (M-GEN オートガイド)
FUJIFILM X-T1 (HKIR改造) ISO:3200
180sec×5/17枚 (総露出:15分)
DSS (64Bit版) 約3×Drizzleコンボジット
(darkなし/fla tなし)
Autosave(32Bit) 処理
Si8 (星雲マスク) /PhotoshopCS2にて画質処理

20180504配信 No4304

2018.04.20 M101

山本 幸司



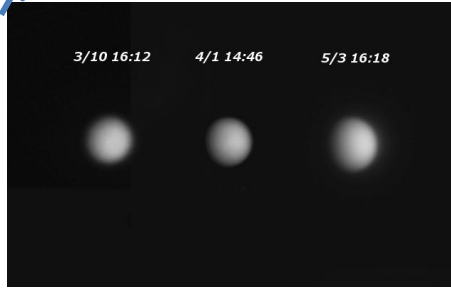
日 時：2018.04.20 01:40~03:39
撮影地：大分県大分市 香りの森付近
機 材：ビクセンR200SS直焦 D=200mm f=800mm
IEQ45Pro赤道儀 (M-GEN オートガイド)
FUJIFILM X-T1 (HKIR改造) ISO:3200
180sec×40枚 (総露出:120分)
DSS (64Bit版) 2×Drizzleコンボジット
(dark19枚/fla tなし)
Autosave(32Bit) 処理
Si8 (星雲マスク) /PhotoshopCS2にて画質処理

20180505配信 No4305

5/3の金星

太田 輝章

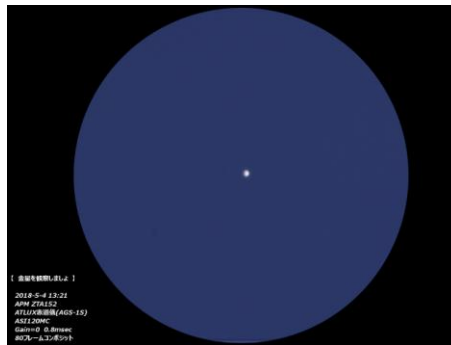
昨日(5/3)の金星です。風が強めでしたが、見た目の印象は「いつもの見え方」でした。画像処理した結果としては4/1よりもボケた印象になっていますが多少大きくなり、より欠けているのがわかります。



昨日(5/4)昼間の金星

太田 輝章

日中のシーイングは3日より4日の方が良かったようです。金星の画像処理結果は多少クッキリしました。あえて小さく撮って、青空の中に見るイメージにしました。視野50度で倍率60倍程度でしょうか。動画が緑なのは単純に光量を落とすために、Vixenの惑星フィルタ(30年もの)を付けています。(編集部注 アストロインフォメーションでは動画再生できませんので、MM4305号 2018年05月05日配信 をご覧ください)



20180505配信 No4306

2018.05.05 月と土星の大接近

山本 幸司

月齢18.6の月と土星が大接近して見えてました。ドブソニアンにデジカメ直焦のお手軽撮影ですが両者の明るさの差が大きいので、差の絶対値合成してみました。双眼鏡で見ると、人間の目では明るさの差を見事に調整できます、人間の目って優秀なんですよ!

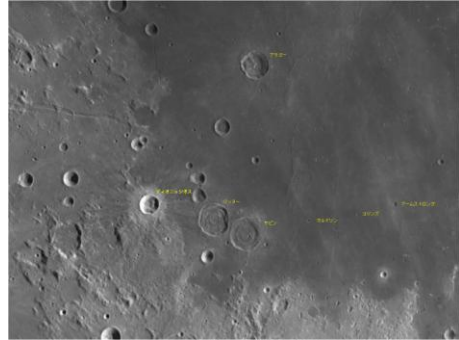


撮影日時：2018年05月05日 02:16
撮影地：大分県大分市
機 材：DOB GOTO 10 f=1200mm直焦
Nikon D810A 直焦点 ISO:3200
露出:1/320と1/5000を差の絶対値合成

月は満月近くは面白くない」と
誰が言ったシリーズ1 (^^) Vol.3

川端 孝幸

今回のエリアはここ! アポロ11号着陸地点で有名な「静かの海」オールドリン、コリンズ、アームストロングの名前が付いたクレーターも見えます。南西部に北からアラゴー、リッター、サビンとクレーター内部の構造がそれぞれ興味深い。そのなかで満月のころ特に明るくなるクレーターがディオニシオス。小さいながらきれいな光条を放っています。また内部に並んだ大小のドームも。これは手持ちの月面図にも載ってなくて新発見のような喜び(〇〇)満月前後にお楽しみあれ!



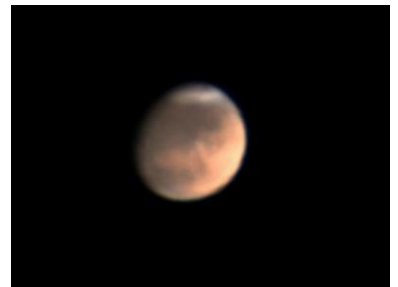
C14+IR76+ASI224MC

20180506配信 No4307

昨日(5/5)の火星とりあえずの木星と土星

川端 孝幸

木星、土星は散々ですね。やっと火星も何とか処理できました。





火星：2018-05-05 04h40m20s (JST)
木星：2018-05-05 02h21m37s (JST)
土星：2018-05-05 03h17m57s (JST)
共通) C14+2×バーロー+IRcut+ADC+ASI224MC

20180506配信 No4308

M88銀河

梶原 達夫

昨晚天気が良かったのでM88銀河(かみのけ座)を撮影してみました。FBIにUPしたものより背景を明るくしました。撮影後半には西に傾いてしまい日田市街の光害で色むらが出てしまいます。処理に少し時間をかければ消せるのですが(^ω^)・・・



撮影日時 2018年5月4日 20時～
撮影地 自宅観測所
機材 30cm Newtonian F6 (1800mm) 直焦
冷却CCDカメラ -30℃
L 10分x10枚 RG7分x3枚 B7分x4枚
RGB 2x2ピニング

3月から5月初めまでの火星

川端 孝幸

順調に接近中(当たり前か) (^^)
だいぶ大きくなりましたね！



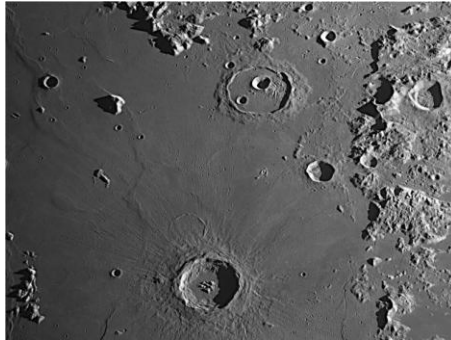
20cm反射F5直焦点 KISSX5 (IR改) LPR-N
180sec x 48 120sec x 34 Dark x 10 Flat x 10
DSS 2xdrizzle · PSEL NIK · Si8
河内天体観測小屋(自宅)大分県豊後高田市

20180508配信 No4311

月面探訪

川端 孝幸

カシニ(Cassini)とアリストイルス(Arillus)
溶岩あるれるカシニと光条と中央山塊が目立つアリストイルス。個性豊かな2つのクレーターの対比が面白い。



2018-03-25撮影
C14+IR76+ASI224MC

20180508配信 No4312

赤缶による月撮影に挑戦

安元 治義

遅くなりましたが赤缶を導入し月撮影に挑戦を送ります。ASI290MCを導入し月の撮影に挑戦IR76フィルターによる赤外領域の撮影およびICEによるモザイクです(両方とも川端さんの情報をバクリました)



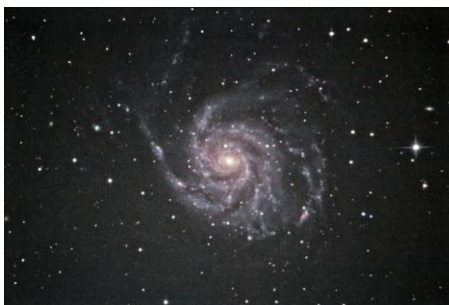
2018.04/23撮影
20cm反射F5直焦点 ASI290MC IR76
10コマ モザイク

20180509配信 No4313

今季課題3時間オーバー露出達成第2弾 M101

安元 治義

3日分の露出を足しました 足立さんより10時間オーバーの提案あり！！10日かかる！！でも面白そう！！ 挑戦するかな！！



20180510配信 No4315

今夜(5/10早朝)のお月

中野 雄吉

久しぶりお月です。風はないけど寒いです。上がってきたばかりで月面はユラユラです。



2018.5.10 04:25 JST
20センチF5 Newtonian 直接焦点 ヒクセンSXD2赤道儀
EOS M6 TV:1/100 ISO800 AWB S=5/10 T=7/10
レジスタックス
外気温 9℃ 大分市 賀来

今朝(5/10)の火星

川端 孝幸

これだけシーイングが悪いと撮るの断念かと思ったんですが、、、時期が時期なので粘ってみました。何とか雰囲気だけ、大きくなってきてる火星です。詳細はごめんなさい(^^)



シーイング1~2/10、透明度3~4/5
2018-05-10 04h45m36s (JST)
C14+2×バーロー+IRcut+ADC+ASI224MC

FBより

20180511未明の大流星

奈須 栄一

今朝の大きな流星を処理しました。AM2時53分頃の出現です。天の川をぶった切る！



20180511配信 No4316

今朝(5/11)の惑星

川端 孝幸

1時台の木星の時の結構良かったですね。衝は過ぎましたが、まだまだ楽しませてくれそうです。3時台の土星、4時台の火星はシーイング悪化しましたが、細部が見える瞬間もあり、いいところだけ抽出出来れば何とかかなりそうです。火星は15%で試行してみました。



木星: 2018-05-11 01h27m55s (JST)
土星: 2018-05-11 03h49m48s (JST)
火星: 2018-05-11 04h59m47s (JST)
共通) C14+2×パロー+IRcut+ADC+ASI224MC

20180512配信 No4318

3時間露光第3弾 NGC4565

安元 治義

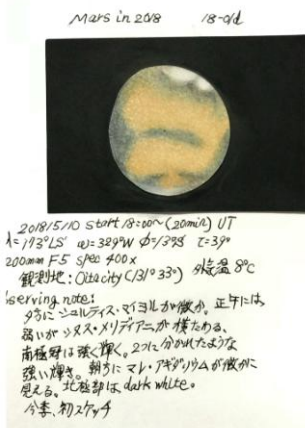
レベル調整のみです。炙り出していません



20cm反射F5直焦点 KISSX5 (IR改) LPR-N
Light120sec x 90 Dark x 10 Flat x 10
DSS 2xdrizzle PSEL
河内天体観測小屋(自宅) 大分県豊後高田市

今季初の火星のカラースケッチ一枚です 中野 雄吉

今朝、今季初の火星のカラースケッチしましたのでお送りします。割と気流は良かったです。ただしデーターは全て手書きです。ごめんなさい。下手くそな字で申し訳ないです。。お許しを。なんとも超アナログな世界です。



事務局より
中野さんから、久しぶりにカラー観測スケッチが届きました。ありがとうございます。
うわー！良いですね！！アナログ、良いじゃ無ですか！！！！デジタルの進歩も凄いいけど、人間の目の性能、人間の脳の情報処理、そして熟練のスケッチ技術、それらが合体すると素晴らしいですね！！是非、スケッチのフォトブックを作ってください！

20180511配信 No4319

NGC 5139 (オメガ星団)

梶原 達夫

10日に撮影したオメガ星団の写真をお送りします。透明度の良い日でしたので思い切って低空のω星団に挑戦してみました。私の観測所からは-54°位までの星空を見ることができますが、30cm反射鏡ではこの星団が限界で南中時を挟み前後1時間位の露出しかできないうえに筒先の1/3はドームの縁にかかっています。大気の浮き上がりなど、この高さではガイドがむづかしく色ずれなどありますが、ご容赦ください。M13球状星団と比べると2倍くらいの大きさで、その迫力に圧倒されます。



撮影日 2018年5月10日 21h~
30cmF6(1800mm) Newtonian FLI ML16200 -30°C
L 300sx8 1x1 RGB420sx各3 2x2

20180512配信 No4320

今朝(5/12)の火星

川端 孝幸

昨日より少し条件が良くなり、細部が出てきました。



シーイング4/10、透明度3/5
2018-05-12 04h51m46s (JST)
C14+2×パロー+IRcut+ADC+ASI224MC

20180512配信 No4321

木星・火星・パンスタース彗星
太田 輝章

10日の木星は良く撮れた方です。GIF動画にしてみましたので送付します。(編集部注: GIF動画はインフォメイションに掲載できないため、ミニインフォでご覧下さい)今朝の火星はゆらゆらでしたが、処理をするとある程度模様が確認できました。



パンスタース彗星を撮ってみたいと思っていましたが今朝ようやく撮りました。焦点距離910mmでもこのイメージでとても小さいです。オリジナルサイズのまま右上に別出ししました。



20180512配信 No4322

5月10日夜撮影の木星、火星、土星

刈 辰夫

木星 目立った模様の無い面です。



5月10日22時53分~23時07分
25cmF4 (加付カメラ) 5倍パロー
adc asi224mc
シャッター10ms 90s x 8
autostakkert Registax JUPOS

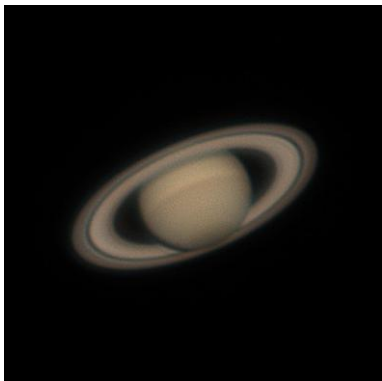


20180512配信 No4322

5月10日夜撮影の木星、火星、土星

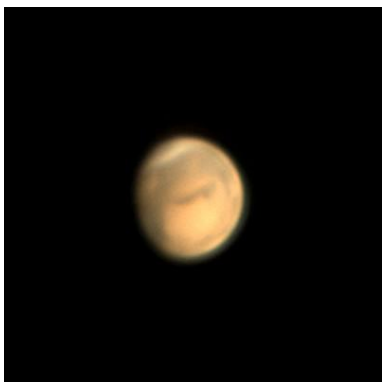
瀧 辰夫

土星はあまり撮影したことが無いですが、全体が暗いので露出不足かな～。



5月11日2時25分～120秒
25cmF4 5倍バロー adc asi224mc
シャッター40ms
autostakkert Registax

火星
高度が低く、最近南側隣に大きな家が出来たので特に気流が悪いです。火星は、明るいので、別に合成焦点距離を更に長くする必要がありますが、延長筒がなかったので、カメラが指 定する感度設定を少し下げています。



5月11日3時0分～120秒
25cmF4 5倍バロー adc asi224mc
シャッター10ms IRカットフィルター
autostakkert Registax

さそりの尻尾

藤吉 健児

5月の連休中は何とも霞んだ空でしたが、連休最終日からの猛烈な雨で、連休明けの平日はかなり透明度の良い空になりました。
5/09の夜はきれいな空と思ったのもつかの間一気に雲が押し寄せ、北極星が見えなくなったので、雲に覆われていない南の低空、さそりの尻尾付近をお向かいの屋根すれすれのところで撮ってみました。その勢いを駆って、庭から天の川がくっきり見えるほどの透明な空だった5/10は未明にかけて撮影、ようやくさそりの尻尾の3星雲をRAW画像多数枚で撮影することができました。



さそり座のNGC6334 猫の肉球星雲(出目金星雲)
2018.05/10 01:17～ 自宅庭より
Takahashi SKY90(D90f407RD)
Astronomik CLS CCD EOS Clip
Canon EOS Kiss X7i ISO1600 60秒×61Fr
Takahashi EM200(AGS-1L) + PoleMaster ノータッチ
DSS(IL61D20F60DF60B55)KappaSigma 32Bit
PSCS2 Si8 NeatImage



NGC6357彼岸花星雲
2018.05/10 02:40～ 自宅庭より
Takahashi SKY90(D90f407RD)
Astronomik CLS CCD EOS Clip
Canon EOS Kiss X7i ISO1600 60秒×75Fr
Takahashi EM200(AGS-1L) + PoleMaster ノータッチ
DSS(IL75D20F60DF60B55)KappaSigma 32Bit
PSCS2 Si8 NeatImage



IC4628エビ星雲
2018.05/11 00:44～ 自宅庭より
Takahashi SKY90(D90f407RD)
Astronomik CLS CCD EOS Clip
Canon EOS Kiss X7i ISO1600 60秒×75Fr
Takahashi EM200(AGS-1L) + PoleMaster ノータッチ
DSS(IL56D20F60DF60B55)KappaSigma 32Bit
PSCS2 Si8 NeatImage (VLT望遠鏡画像風に彩度調整)

20180514配信 No4324

今朝(5/14)の火星・5/10の木星

足立 紀彦

久しぶりの投稿です。

1. 5月14日の火星

今朝は霧が深くダメかと思っていましたが、シーイングは今季最高でした。落ち着きのある火星を見たのは初めてです。



Telescope=EdgeHD800+3 x BarlowLens+ADC
Mount=EQ6
Camera=ZWO ASI290MC
Diameter=12.60 " Magnitude=-0.70 CM=323.0"
(during mid of capture) FocalLength=9650mm
Date=140518 Start=042811.113
Duration=66.050s Frames captured=10000
FPS (avg.)=151
Shutter=5.300ms Gain=350 (58%) Gamma=50

2. 5月10日の木星

この日は全国的に良かったようですが、臼杵の山間の地でもGoodでした。



Diameter=44.75 " Magnitude=-2.52
CMI=201.2° CMI=145.7° CMI=10.6°
(during mid of capture) FocalLength=8000mm
Date=100518 Start=221117.589
Duration=75.341s Frames captured=8000
FPS (avg.)=106
Shutter=9.221ms Gain=370 (61%) Gamma=50 (off)

20180514配信 No4325

今期木星のベストか？

川端 孝幸

5月11日早朝の1時37分台が今期の木星ベストショットになりそうです。速報画像の次のコマになります。衝近くに何とか気流が良くなりラッキーでした。遅ればせながら掲載致します。



20180514配信 No4326

球状星団5点

足立 紀彦

赤道儀（NJP）とオートガイドが不調のため、RASAと冷却CMOSでの短時間露光＋多重撮影に取り組みました。球状星団を中心に撮影しましたので、投稿します。2xDrizzleなので、シャープさがイマイチです。



M10（へびつかい座） 2018.5.10 0:54～



M12（へびつかい座） 2018.5.10 0:09～



M13（ヘルクレス座） 2018.5.09 23:53～



M14（へびつかい座） 2018.5.11 0:42～



M22（いて座） 2018.4.28 3:05～

Telescope=RASA(D28cm,F2.2, FL=620mm)
Camera=ZWO ASI071MC-Pro
Mount=TAKAHASHI NJP .No touch guide
Shutter =20sec x 100 150枚
5sec x 100枚
Gain=350~380
CaptureSoft=FireCapture2.6
Stack Develop=DSS 2xDrizzle~PhotoShop

20180514配信 No4327

20180512夜半過ぎの木星

藤吉 健児

5/09に衝となり、今年一番の大きさに見えている木星ですが、今のところ昨年のような落ち着いた気流の日はありません。5/11の夕方は完全に曇ってしまいましたが、夜半前から晴れ間がのぞき肉眼的にはシンチレーションも少なそうに見えました。はたして、望遠鏡で見てみると、木星表面の模様は今年一番の見え具合。喜び勇んで撮影を始めてみると、薄雲があったようで明るさが一定しません。それでもWinJuposで7コマDe-rotationしてみたら結構見えてきました。イオが近づいてきています。



Celestron Edge HD800+ZWO ADC+Celestron
3xBarlow ZWO ASI290MC
FireCaptureV2.6beta
Gain400 Gamma40 Shutter10msec Duration60sec
自宅庭にて2018.05/12 00:35から60秒づつ連続7セット撮影(De-rotation処理のため00:39の画像として出力されています) ASI3 Registax6 WinJupos S17 CS2

20180515配信 No4328

5/15未明の木星

藤吉 健児

今報告すると、公開されている国立天文台撮影の木星を凌駕するあの川端さん の木星と同じころに配信されるんだろうなあ・・・と思いますが、その引き立て役に徹しましょうか（*≧m≦*）
昨日は急に暖かくなったので、おそらく上空の気流も落ち着いたに違いないと予想しましたが、実際、今季最高の見え味でした。ただ雲の存在は肉眼ではわかりませんでしたが、木星の光度が普段より非常に暗かったですね。撮影中も光度変化が大きかったのですが、結構落ち着いた画像にできました。
PM2.5かとも思ったのですが、撮影30分後には肉眼で木星が見えなくなりましたので、おそらく雲が広がっていたんですね・・・



Celestron Edge HD800+ZWO ADC+Celestron
3xBarlow ZWO ASI290MC (FCV2.6beta Gain400
Gamma40 Shutter11msec)
60秒(平均2730Fr) ×4セット DeRotation
ASI3 Registax WinJupos S17 CS2
2018.05/15 00:29~00:33JST(+0900) 自宅庭

今朝（5/15）の木星

川端 孝幸

かなりPMきつかったですね。気流は比較的安定してました。地上は無風。水蒸気も多かったように思っています。



2018-05-15 01h39m22s (JST)
C14+2×バーロー+IRcut+ADC+ASI224MC

20180515配信 No4329

今朝（5/15）の土星&火星

川端 孝幸

PM2.5?もやの中から出たり入ったり。ゲイン一杯での撮影になり、画像は荒れてます。気流はそこそこでです。地表は非常に安定していてほぼ無風状態です。



土星: 2018-05-15 04h18m15s (JST)
火星: 2018-05-15 04h38m36s (JST)
共通: C14+2×バーロー+IRcut+ADC+ASI224MC

今朝（5/15）の火星スケッチです

中野 雄吉

今朝、2年ぶりに大シュルティスに会えました。お空の透明度と共に気流も悪く像は暗いです。倍率を下げて暗めの像。なんとかスケッチできました。スケッチは不完全です。今はまだ修行中です。



20180520配信 No4335

今夜(5/19)のお月

中野 雄吉

薄雲がかかりながらの撮影でした(^_^)



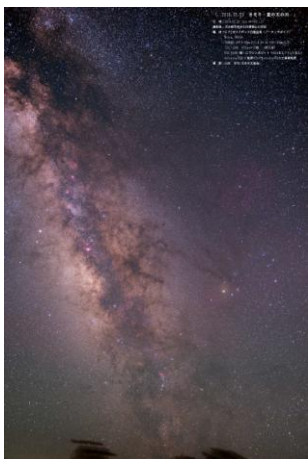
2018.5.19 19:58 JST
五藤 10cm屈折 GTM100/1000APO 直焦点
ピクセンSXD2赤道儀
EOS M6 TV. 1/640 ISO4000 AWB S=5/10 T=7/10
レジスタックス
外気温 18℃ 大分市賀来

20180521配信 No4337

2018.05.20 さそり・夏の天の川

山本 幸司

くじゅう花公園での観望会終了後、近くの駐車場で移動して川端副会長と合流して木星の観測と役員会議(?)を行いました。かなりの強風でドブソニアンで見る木星は猛烈に動き回るくらいでした。冷たい風で大変寒かったので01:00位で解散となりました。ドブをしまっで、帰ろうとしたら、その位から薄雲も取れてきて凄く透明度の天の川！冷え切ったので迷いましたが・・・結局ボタ赤道儀を出して天の川を撮影してしまいました。(笑)強風のため少しガイドが流れてますが透明度良い天の川を見るのは本当に久しぶりで大満足です。観測会のお客さんにも久住のこの素晴らしい天の川を見せてあげたかったな！！！！



日 時: 2018.05.20 01:44~02:17
撮影地: 大分県竹田市久住南登山口付近
機 材: GP2ガイドバック自動追尾(ノータッチガイド)
Nikon D810A
TAMRON SP15-30mm F/2.8 Di VC USD (30mm/3.5)
ISO 1600 147sec×15枚 (計36分)
DSS (64Bit版) にてコンボジット
(darkなし/fla tなし)
Autosave(32Bit)処理SI8/PhotoshopCS2にて画質処理

20180521配信 No4338

惑星と星雲の同時撮影

藤吉 健児

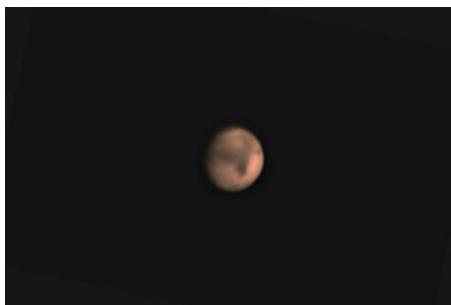
我が家にも2台の赤道儀があるので、違う鏡筒で撮影できるのですが、片付けのことも考えると、土曜の夜くらいしかそういうチャンスがありません。使うたびに組んで、片付ける、庭振りの宿命です(^_^)

5/19(土)はずっと曇っていたのに日付が変わった20日(日)の0:00になったを過ぎた頃から急速に晴れ、しかも透明度は特筆に値するものでした。(わし星雲を撮った時に近い)赤い星雲はその光の特性上少々霞んでいても写りますが、青い星雲はそういうわけにはいかないの、光害地である庭振りではありますが青い馬頭星雲を一度撮ってみようと思いました。本来400mmでは全体が入りきれない対象ということも重々承知の上で、でも光害地で焦点距離を短くするとカブリが激しく出ますので今回は400mmで。



1:IC4592 青い馬頭星雲(付近・笑)
SKY90(D90f407RD)+EOS70D(Ir) ISO1600 60秒
EM200(AGS-1L)+PoleMaster ノータッチ
2018.05/20 02:00AM 自宅庭にて
DSS(L52D33F40DF40B80) PSCS2(32Bit) SI7 NeatImage
(南を上にしてあります)

その南東側にもう一台赤道儀を組み惑星を狙ってみました。実は透明ではあるもののシンチレーションは激悪で、土星はスタックすると写真の中央にブラックホールがあって吸いこまれているのではないかな？と思うようなぐちゃぐちゃなスタック結果、火星は赤いところと黒いところが分離して見えません・・・せっかく2台組んだのに、と思い粘りに粘り、薄明が始まって、薄明の空フラットを撮影中にどうにか赤と黒が分離して見えるようになりました。それでもひどいのでWinJuposを使ってみましたがなかなかうまくいかないようで、欠け際の方に白い線が入ってしまいました。



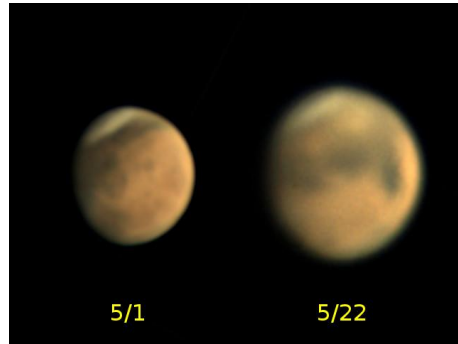
2:20180520朝の火星
Edge HD800 + 3xBarlow + ADC + ASI290MC
FireCaptureV2.6beta Gain400 Gamma50
Shutter4.6msec 60sec 12000Fr Focal Length 9950mm??
20180520 04:54~05:08JST 3セット撮影
ASI3 Registax WinJupos

20180522配信 No4339

今朝(5/22)の火星

川端 孝幸

雲間から何とかゲット(^_^)ちょっと見ぬ間に一回り以上デカくなったぁ！



20180523配信 No4340

月面XとV

川端 孝幸

雲間から(^_^)不安定な春の天候です。崩れる前に何とか撮れました。



20h49m56s



20h54m49s

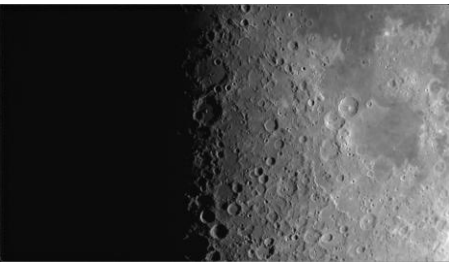
京都市青少年科学センターの機器で表示した編集長の誕生年月日の太陽系の様子



20180524配信 No4341

昨日(5/22)の月面中央の山々と月面X
安元 治義

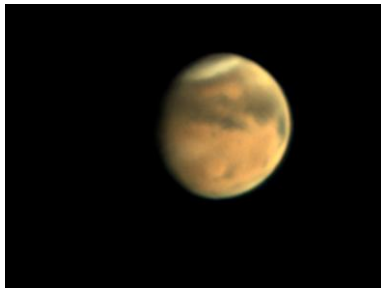
今夜は晴れの予報でしたが いまだに雨ふっています。
で 画像処理の練習(W辺塾)の成果を!!



今朝(5/24)の火星

川端 孝幸

4時台に安定してきました。
大気が入れ替わり、少し気温が下がった分気流は悪いです。



シーイング4/10、透明度3/5
2018-05-24 04h15m39s (JST)
C14+2×パロー+IRcut+ADC+ASI224MC

20180525配信 No4342

今朝(5/24)の火星

足立 紀彦

火星の今シーズンのベストショットが撮れましたので、投稿します。渡辺真一さんのご指摘(アドバイス)でAPを1つにしたら2重のリムが消えました。(^-) 有り難うございました。



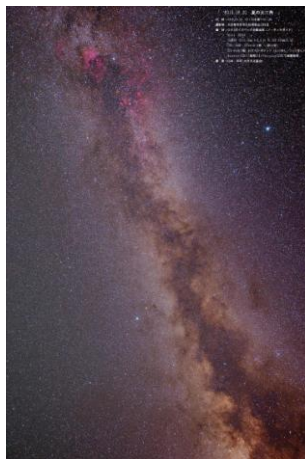
Telescope=EdgeHD800+3 x BarlowLens+ADC
Mount=EQ6 Camera=ZWO ASI290MC
Filter=IR cut
Diameter=13.99 " Magnitude=-0.97
CM=214.8" (during mid of capture)
Focallength=9350mm
Date=240518 Start=033243.745
Duration=67.361s Frames captured=10000
ROI=600x598
FPS (avg.)=148
Shutter=6.512ms Gain=399 (66%) Gamma=50 (off)

20180526配信 No4343

2018.05.20 夏の大三角

山本 幸司

この夜は強風でしたが透明度は素晴らしく良かったです。と言うか・・・公害(PM2.5)が少なかった十数年前はこんな感じだったことを忘れかけてました。撮影時間が限られていて僅か34分の露出ですが、条件が良いと短時間でもこんなによく写ります。星空を見続けている私たちは空気の汚れに人一倍敏感なはずなのに・・・慣れて怖いですね! 皆さん、公害・光害が少なければ天の川は(色は人間の目では感じにくいですが)雲と見まごうくらい、モクモクと見えるんですよ! 環境を空気を大切にしたいですね!



日 時: 2018.05.20 02:26年度~02:58
撮影地: 大分県竹田市久住南登山口付近
機 材: GP2ガイドバック自動追尾(ノータッチガイド)
Nikon D810A
TAMRON SP15-30mm F/2.8 Di VC USD
(30mm/3.5)
ISO 1600 147sec×14枚 (計34分)
DSS (64Bit版) にてコンボジット
(darkなし/fla tなし)
Autosave(32Bit)処理SIB/PhotoshopCS2にて画質処理

20180527配信 No4344

月齢10.6 今夜のお月

中野 雄吉

お昼から気持ちよく晴れてきた。明日は早くに出かけますので今宵はこれまでです。残念～～。



2018.5.26 20:27 JST
五藤 10cm屈折 GTM100/1000APO 直焦点
ピクセンSXD2赤道儀
EOS M6 TV. 1/800 ISO320 AWB
S=6/10 T=8/10
レジスタックス
外気温 18℃ 大分市賀来

20180528配信 No4348

5/27未明の木星・土星・火星

太田 輝章

第一回・四季の星空観測から帰った後、木星・土星・火星と撮影してみました。割とシーイングは良さそうでした。眼視での火星はかなり良かったのですが、撮影するとそれ程でもなかったようです。



20180528配信 No4349

昨夜の25cmで撮影した木星と火星です
刈 辰夫

Winjuposの火星はなかなかうまく行きません。今回、欠け際の白線は僅かに出来ませんが、消していません。どうも合成する前の画像が完璧でないと駄目なんですね。また、火星の場合、合成すると色ずれるようです。なので、火星は模様の強調処理を控え目にしています。



木星 2018年5月26日 23時13分~30分~
25cmF4ニュートン スカイウォッチャー製鏡筒
5倍パロー adc asi224mc
シャッター10ms 90s×12
autostakkert Registax Winjupos



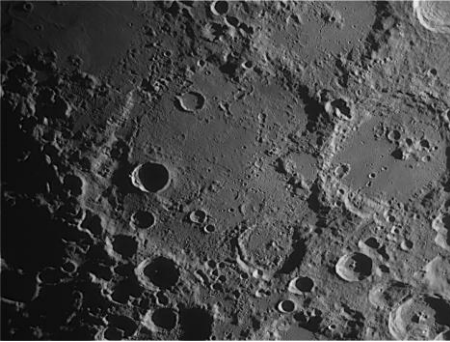
火星 2018年5月27日 3時56分~4時54分
25cmF4ニュートン スカイウォッチャー製
5倍パロー adc asi224mc
シャッター5.5ms 240s×15
autostakkert Registax Winjupos

20180531配信 No4353

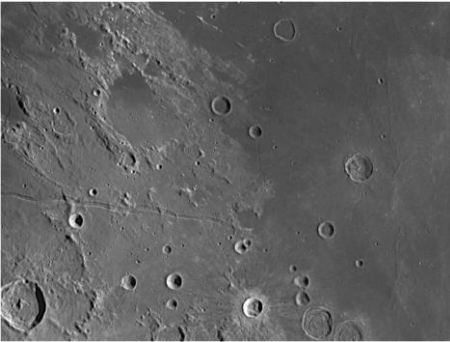
3月の月から

川端 孝幸

今思えばこの時期、そこそこいい条件の日が続きました。25日の画像から。



1) デランドル、ヴァルター周辺



2) ヒギヌス谷、トリスネッカー谷周辺



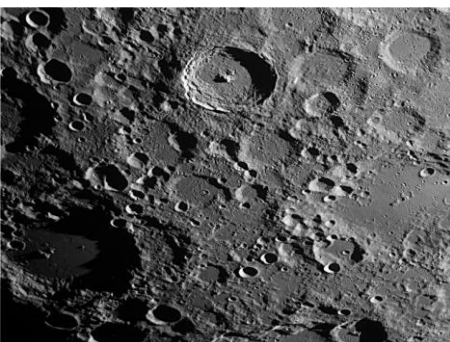
3) アリアウデス谷からソシゲネス谷へ

20180601配信 No4355

3月の月から (Part 2)

川端 孝幸

これは3月26日の月。前日に続きこの日も良かった。



1) ティコ、ロンゴモンタヌス周辺



2) アルプス谷、カッシーニ



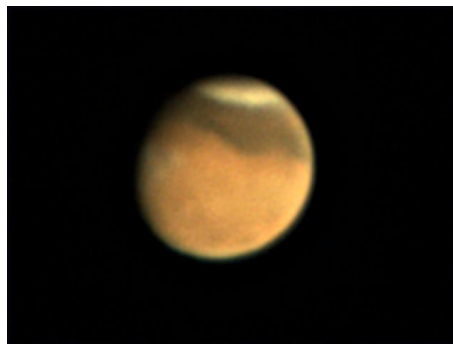
3) コペルニクスとエラトステネスに挟まれたスタディウスクレーターチェーン

20180601配信 No4356

今朝 (6/1) の火星

川端 孝幸

夕々の登場。九州北部は既に梅雨入りして、1週間以上も写真を撮ることが出来ませんでした。また一段と大きくなったような気がします(^^)ととりあえず1カット。シーイングは悪いですが、タルシス高地に雲が広がってます。

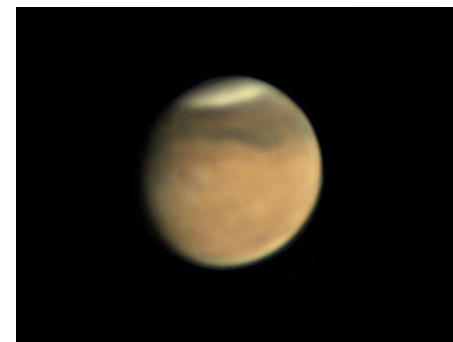


20180603配信 No4357

今朝 (6/2) の火星

川端 孝幸

快晴で地上の風も僅かですが、上空は相変わらずです。ととりあえずの1カットを掲載します。明日明後日まで天気が持ちそうなので、この辺りで気流が改善することを期待しましょう(^^)



シーイング3/10、透明度4/5
2018-06-02 03h53m37s (JST)
C14+2×バーロー+IRcut+ADC+ASI224MC

20180603配信 No4359

「気流が良かった6月1日夜」の25cmで撮影した木星と火星
刈 辰夫

6月1日の大分市内の気流は夕方から比較的良好でした。但し、高度の低い火星は、庭の前に大きな家が出て気流は常に最悪。今回火星は、Winjupos 無しの1枚だけですが、悪気流が原因なのか画像処理で模様をはっきりさせようとすると火星外周のリムが取れません。木星の方は、やはり大赤班が有る画像の方が見応えがありそうなので、大赤班の写っているものをアップしました。



6月2日3時13分～ 25cmF4 5倍ハロー adc
asi224mc 赤外カットフィルター
シャッター5ms 240s×1
autostakkert Registax



2018年6月1日23時13分～19分
25cmF4 5倍ハロー adc asi224mc
シャッター10ms 90s×5
autostakkert Registax Winjupos

6/1～2の惑星たち

太田 輝章

6/1は梅雨入りかと思ったら真夏の感じで惑星日和でした。木星は20:00～24:00の撮影で好シーイングが続きました。そのまま高度を上げた土星に浮気しましたが、いつになく良く撮れました。というより15cmでの過去最高というくらいでした。気を良くして25:30からは火星に浮気。そこそこ見えていました、模様がのっぺりした感じで面白味が無い面が向いていました。もちろんK端さんの精細画像には及びませんが、夜が明けても晴天が続き、AMに金星を撮影しましたがグダグダで、PMになると輪郭が判る程度には落ち着きました。



【 火星・木星・金星・土星 】

2018-6-1～6-2
APM ZTA152
HYPERION 5mm, 10mm
ATLUX赤道儀(AGS-15)
ASI120MC
拡大率は全て異なる

20180604配信 No4360

2018.06.02 土星

山本 幸司

惑星撮影復活2日目 亀のごとくの歩みですが・・・笑 お恥ずかしい限りですが、記録として投稿します。



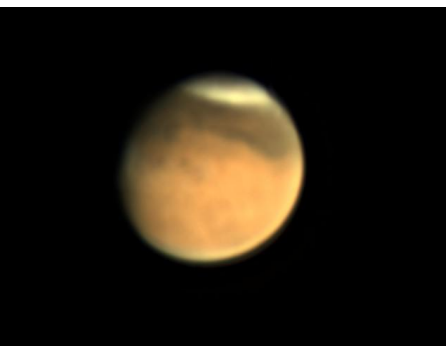
2018.06.02 01:05:34
DOB GOTO10 f=1200mm
K式ADC+Or18mm+IRカット+ASI290MC
FBに投稿した画像を藤吉さんのアドバイスを頂き
すこしシャープにしました・感謝

20180605配信 No4361

今朝(6/4)の火星

川端 孝幸

明け方雲は晴れたのですが、予測に反し気流が改善
しません。中層の気流問題なのか、、、
高層気流は間違いなく収まってきてるんですけどね。
ひたすら待ちです(^^)



シーイング3/10、透明度3/5
2018-06-04 04h08m36s (JST)
C14+2xバーロー+IRcut+ADC+ASI224MC

昨夜(6/4)の木星

川端 孝幸

次から次に雲が襲来する状況で撮影。シーイング良
かったのが残念。GRSの周辺の変化著しい!もう少し
詳細に、継続的に撮影出来たらさぞ面白いことで
しょう(^^)ガニメデは別処理。多少模様が出たよ
うな、、、



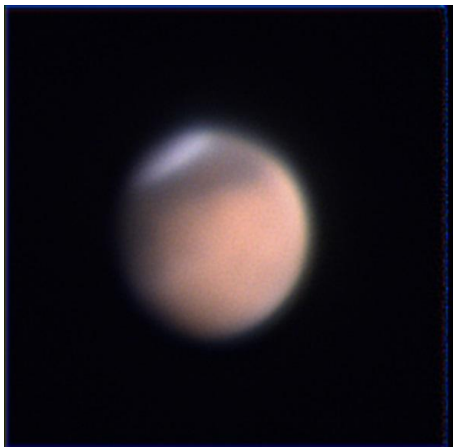
2018-06-04 22h22m12s (JST)
C14+2xバーロー+IRcut+ADC+ASI224MC

20180605配信 No4362

6月4日の火星

足立 紀彦

6月4日の火星をMewlon250CRSで撮影しました
ので投稿します。とはいえ、あまり精細に写ってはい
ません。全くダメ?



Telescope=Mewlon250CRS+3xBarlow+ADC
Mount=EQ8 Camera=ZWO ASI290MC
Filter=IR cut Profile=Mars
Diameter=15.76 " Magnitude=-1.30
CM=121.6" (during mid of capture)
Focallength=10900mm
Date=040618 Start=041501.317
Duration=66.202s Frames captured=10000
File type=SER FPS (avg)=151
Shutter=5.000ms Gain=360 (60%) Gamma=50

6月1日から2日かけての木星

足立 紀彦

6月1日から2日かけてはこれまで経験したことが
ないほど、快晴、無風、シーイング最高でした。そ
のときの木星です。



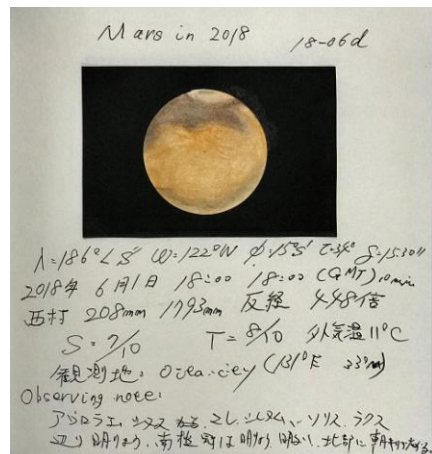
Telescope=EdgeHD800+3xBarlow+ADC
Mount=EQ6 Camera=ZWO ASI290MC
Filter=IR cut
Diameter=44.03 " Magnitude=-2.46
CM=136.7" CMII=272.8"
CMIII=143.6" (during mid of capture)
Focallength=7800mm
Date=010618 Start=234836.244
Duration=100.012s Frames captured=10950
FPS (avg)=109
Shutter=9.012ms Gain=390 (65%) Gamma=50

20180605配信 No4363

6月2日の火星のカラースケッチ

中野 雄吉

少し遅くなりましたが6月2日の朝方の火星のカラー
スケッチです。起きて見ると素晴らしく綺麗な火星
が見えてました。南極冠は輝きを増し溜息の出るほ
ど綺麗でした。



20180605配信 No4364

昨夜(6/4)の木星

安元 治義

1時間半後に現れた木星、雲に隠れ次に現れたのは1
時間半後。自転早いんですね。ガニメデもずいぶん
離れて影が映っています。影の処は 日食 どんな日
食 皆既かな



20cm反射F5直焦点 ASI290MC 3xバーロー
1枚目 21:02 トリミング
2枚目 22:26 ASI2で1.5xDrizzleしました
AS!2でDrizzleは有りですね
そのままトリミングとかなり変わります



大分天文協会

Astronomical Society of Oita